

科目名	敬心における共生論		担当教員	柳澤 孝主、小林 光俊、 陶山 哲夫、佐藤 章、菊地 みほ、 熊本 圭吾、澤田 千秋	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 敬心学園の一員として、学園理念「他人を敬い、自らを律し、人々の心をもっと大切に、一人ひとりが輝いて生きる社会を創造する」を踏まえ、「共生社会」や「リハビリテーション」さらには「QOL (Quality of life) の向上・獲得」について理解を深める。 敬心学園の理事長や大学の学長等、本学のリーダーから、「理念」や「養成する人材像」について、直接学ぶ機会を設け、その真意について学ぶ。 共生社会における自らの役割について考える。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 共生社会の概念を理解し、説明できる。 ② 敬心学園の理念を理解し、説明できる。 ③ 共生社会の実務リーダーとしてのあるべき姿を理解し、説明できる。

No.	テーマ		内容
1	共生社会とは (1)	授業内容	共生社会の概念を学び、実現に向けての課題について理解する。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
2	共生社会とは (2)	授業内容	リハビリテーションを4つの視点 (①医学、②社会、③教育、④職業) から考察し、共生社会の概念との関連性を学ぶ。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
3	超高齢社会と QOL	授業内容	超高齢社会にある日本の現状を踏まえ、「QOL (Quality of life) の向上・獲得」の重要性を学ぶ。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
4	学園リーダーの考える理念 (1)	授業内容	敬心学園の理事長から、「学園理念」について学ぶ。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
5	学園リーダーの考える理念 (2)	授業内容	本学の学長から、「養成する人材像」について学ぶ。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
6	ステークホルダーの視点 (1)	授業内容	地域社会 (地方自治体等) からの視点で、共生社会の実現と発展を目指す本学のあり方について学ぶ。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。

7	ステークホルダーの視点 (2)	授業内容	産業界（医療機関、福祉施設等）からの視点で、共生社会の実現と発展を目指す本学のあり方について学ぶ。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
8	本学の役割についての総括	授業内容	7回目までの学びを振り返り、共生社会の実現と発展を目指す本学の役割について総括を行う。
		予習	共生社会に関する事例について、情報収集を行うこと。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。

評価法基準	毎回の課題提出 30%、期末レポート 70%
教科書	なし 都度、資料を配布する。
参考書	なし
履修上の注意	共生社会の実現に向けた具体策について、新聞等から得られる世の中の動きからヒントを得る姿勢を持ちながら、授業に臨むこと。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	心理学		担当教員	小野寺 哲夫	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	心理学は、全ての医療専門職の基礎となる学問である。心理学では、科学としての現代心理学が、誕生以来この 100 年間、どのようなことを研究してきて、どんなことが明らかになってきたのかなどについて、有名な心理学実験なども適宜紹介しながら学ぶ。そしてそれが私たちの日常生活や人間理解にどのように関係し、また自己理解や他者理解、障害を持った患者の心理の理解や精神的健康の維持や増進のためにどのように応用できるのかになどについて学ぶ。その際、医療専門職の国家試験等を見ずえて、出題頻度の高い分野を中心に学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学全体の概要を理解し、心理学の歴史における 3 つのパラダイム（精神分析・行動主義・ヒューマニスティック心理学）について説明できる。 ・心理学の各テーマについての概要を理解し、その中に出てきたキーワードや代表的な心理学実験について説明できる。 ・医療専門職の国家試験に頻出するテーマの重要事項について覚え、具体的に述べるができる。

No.	テーマ		内容
1	心理学の研究 方法	授業内容	心理学の学問的位置づけ・心理学研究法について講義する。心理学の実験について学ぶ。
		予習	心理学の研究法にはどのようなものがあるのかについて調べること。
		復習	心理学実験に関する基礎用語について、まとめること。
2	心理学の歴 史	授業内容	科学としての心理学の誕生から現在までの心理学の歴史と、心理学の 3 つの代表的なパラダイムについて学ぶ。
		予習	心理学がどのように誕生し、発展してきたのかについて調べること。
		復習	現代心理学の中に存在する 3 つのパラダイムの特徴について、まとめること。
3	知覚の心理 学①	授業内容	知覚心理学の黎明期に出てきた精神物理学について紹介し、ゲシュタルト心理学の「図と地」や「プレグナンツの法則」などについても学ぶ。
		予習	精神物理学の代表的な法則について調べること。
		復習	「図と地」の特徴とゲシュタルトの法則について、まとめること。
4	知覚の心理 学②	授業内容	ゲシュタルト心理学の錯覚（錯視など）や知覚の恒常性、選択的注意について学ぶ。
		予習	錯覚や錯視には、どのようなものがあるのかについて調べること。
		復習	人が現実世界を歪めて知覚する理由についてまとめること。
5	学習の心理 学①	授業内容	パプロフの古典的条件づけを実際に体験してから、その原理について講義し、さらにその応用である「系統的脱感作法」について学ぶ。
		予習	有名な犬を使ったパプロフの条件づけについて、調べること。
		復習	パプロフの条件づけの特徴とその応用可能性について、まとめること。

6	学習の心理学②	授業内容	オペラント条件づけについて実際に実験を体験してから、その原理について講義し、さらにその応用である「行動分析学」についても学ぶ。加えて、バンデューラの「モデリング」についても学ぶ。
		予習	オペラント条件づけとモデリングについて、調べること。
		復習	オペラント条件づけの原則についてまとめることと、行動分析学の原理を応用して、実際の自分の行動を変えてみること。
7	記憶の心理学①	授業内容	アトキンソンとシフリンの二重貯蔵モデルについて、記憶力テストなどを体験しながら学ぶ。
		予習	アトキンソンとシフリンの二重貯蔵モデルについて、調べること。
		復習	3つの記憶過程（記銘・保持・想起）と短期記憶の特徴についてまとめること。
8	記憶の心理学②	授業内容	長期記憶（手続的記憶・宣言的記憶など）の種類と特徴について学ぶ。 4つの忘却説についても学ぶ。
		予習	長期記憶には、どのようなものがあるのかについて、調べること。
		復習	それぞれの種類の長期記憶について、それらの特徴についてまとめること。
9	感情の心理学	授業内容	心理学における3つの感情の理論であるジェームズ-ランゲ説、キャノン-バード説、シャクターの情動二要因理論について学ぶ。
		予習	心理学の歴史の中で続いてきた「悲しいから泣くのか」vs.「泣くから悲しいのか」という有名な論争について調べること。
		復習	3つの感情の理論について、それぞれの考え方などについてまとめること。
10	動機づけの心理学①	授業内容	動機づけ（motivation）の基礎理論と、内発的動機づけ・外発的動機づけ、達成動機づけについて学ぶ。
		予習	内発的動機づけと外発的動機づけについて調べること。
		復習	内発的動機づけを高められる条件についてまとめること。
11	動機づけの心理学②	授業内容	マズローの欲求のヒエラルキー理論とレヴィンの3つのコンフリクト（葛藤）、マシュマロ・テストについて学ぶ。
		予習	マシュマロ・テストとは何かについて調べること。
		復習	レヴィンの3つのコンフリクトについて、具体例を挙げながらまとめること。
12	人格の心理学①	授業内容	パーソナリティの2種類のとらえ方である「類型論」と「特性論」について講義し、個々のパーソナリティ理論についても学ぶ。
		予習	心理学の中には、そのようなパーソナリティ理論があるのかについて調べること。
		復習	類型論と特性論のそれぞれの長所と短所についてまとめること。
13	人格の心理学②	授業内容	性格の5因子モデル性格検査について体験し、自分の性格についての理解を深める。知能についてのいくつかの考え方についても学ぶ。
		予習	性格の5因子モデルについて調べること。
		復習	性格の5因子モデル性格検査から見てきた自分の性格についてまとめること。
14	発達の心理学①	授業内容	発達心理学の基礎とピアジェの認知発達論について学ぶ。
		予習	ジャン・ピアジェの生涯について調べること。
		復習	ピアジェの認知発達段階説の各段階の特徴についてまとめること。

15	発達心理学②	授業内容	エリック・エリクソンの生涯発達理論・老年心理学ほか
		予習	エリクソンの発達段階説の各段階の特徴について調べること。
		復習	エリクソンの各発達段階における発達課題についてまとめること。

評価法基準	定期試験 80%、授業内小レポート 20%を総合して評価を行う。小レポートは毎回行われる。
教科書	「PT・OTのための心理学テキスト」 小野寺哲夫 JFA パブリッシング
参考書	「アイゼンク教授の心理学ハンドブック」 マイケル・アイゼンク ナカニシヤ出版 「ヒルガードの心理学」 スーザン・ノーレン・ホークセマ 金剛出版 「はじめてまなぶ行動療法」 三田村仰 金剛出版 「ザ・ソーシャル・アニマル」 エリオット・アロンソン サイエンス社 「オプティミストはなぜ成功するか」 マーティン・セリグマン パンローリング
履修上の注意	毎回、授業の最後に「小レポート」を実施する。また、自己分析や自己理解を促すための心理テスト等を、できる限り多く実施していく予定である。
オフィスアワー	金曜日 (12:10~12:50) 研究室 4-8

科目名	社会学		担当教員	松崎 茂	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	この授業では、受講者が社会学の基礎的な理論や概念を学び理解するとともに、実社会におけるさまざまな現象や問題を考える視座を獲得することを目標とする。テーマは、自己、人間関係、家族、ライフコースといった身近に経験されるものを中心としつつ、その背景にある現代の社会・政治問題や、参照軸としての歴史や海外の状況まで幅広い視野を得られるような構成とする。受講者は、社会のなかで「これが当たり前」とされていることを定式通りに考えるのではなく、それに疑問を感じ、新たな視点や切り口でその問題を考え直し、社会的な見方で考察できるようになることが求められる。講義を中心とするが、可能な限りグループ・ワーク等も積極的に取り入れる。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会において自発的に判断し、かつ行動できる人間になる。 ・社会学の特徴を理解し、その観点から社会現象を分析、整理して文章にまとめることができるようになる。 ・社会秩序及び社会規範の観点から社会現象を説明できるようになる。 ・学生同士のディスカッションを踏まえて、自分の意見を明確に述べるようになる。

No.	テーマ		内容
1	ガイダンス	授業内容	本講義の概要を解説し、併せて進め方、成績評価等の説明を行う。
		予習	社会学という学問に関する情報を調べる。
		復習	図書館などで社会学の辞書・事典に目を通す。
2	社会学とは	授業内容	社会学とはどのような学問か。社会科学の全体像から、その特色を論じる。
		予習	関心のある社会問題を調べる。
		復習	社会問題を学問的に理解することの意義を考える。
3	社会秩序とアノミー	授業内容	自殺の現象を手掛かりに社会秩序の可能性と不可能性を論じる。
		予習	自殺現象に関する情報を調べる。
		復習	身近な人々と人間の生死について対話し、理解し、その内容をまとめる。
4	近代化と個人(1)	授業内容	自己と他者、社会化と社会的自我について論じる。
		予習	人間の自我、自意識に関する諸説を調べる。
		復習	「私」という存在の成り立ちについて過去を振り返って理解し、その内容をまとめる。
5	近代化と個人(2)	授業内容	現代社会における「私」の変容について、ジェンダーを元にして論じる。
		予習	ジェンダーに関する情報を調べる。
		復習	身近な人々とジェンダーと個性について対話し、理解した内容をまとめる。
6	家族と社会(1)	授業内容	家族の諸類型とその変遷について論じる。
		予習	自分の家族・親族を観察し、自らの出自について聴き取り調査をする。
		復習	社会集団として自分の家族を捉え、理解した内容をまとめる。

7	家族と社会 (2)	授業内容	少子化の問題について論じる。
		予習	世界の少子化の現状について調べる。
		復習	自分の結婚や家族形成について身近な人々と対話し、理解した内容をまとめる。
8	職業と社会 階層	授業内容	分業に基づく職業の多様化と社会階層の関係および階層移動について論じる。
		予習	社会階層と職業の関連について調べる。
		復習	将来自分が就きたい仕事を調べ、理解した内容をまとめる。
9	宗教と社会 (1)	授業内容	人間の価値観と宗教および宗教が社会に与える影響について論じる。
		予習	世界の宗教について調べ、その特徴を理解する。
		復習	宗教に関する問題を調べてその内容をまとめる。
10	宗教と社会 (2)	授業内容	日本人の宗教と価値観が社会に与える影響について論じる。
		予習	日本の宗教について調べ、その特徴を理解する。
		復習	自分の家族の宗教を調べ、宗教的な習慣を理解し、その内容をまとめる。
11	文化と社会	授業内容	在日外国人労働者との関わりから社会における異文化理解について考察する。
		予習	日本に生活している外国人の現状について調べる。
		復習	異なる文化的背景を前提としつつも、協力関係を築くための方法について考え、その内容をまとめる。
12	情報と社会	授業内容	情報社会における監視化とプライバシーの保護について論じる。
		予習	インターネットを始めとする情報通信技術について自分の利用状況を確認する。
		復習	情報社会におけるリスクを理解した上で、自分なりの利用方法を考えてまとめる。
13	医療と社会	授業内容	現代における再生医療が提起する社会的課題について理解する。
		予習	平均寿命や医療費の問題について調べる。人間が長生きを求める理由を考える。
		復習	再生医療の技術がもたらす負の側面について理解し、その内容をまとめる。
14	生命と社会	授業内容	死という現象を脳死と臓器提供における自己決定と社会的共同性の側面から考察する。
		予習	世界の脳死と臓器提供の現状について調べる。
		復習	家族と臓器提供について対話し、それぞれの意向を確認し合い、その内容をまとめる。
15	総括	授業内容	これまでの学習内容の確認。
		予習	後半の授業内容について復習する。
		復習	関心のある問題についてより深く調べる。

評価法基準	期末レポート 60%、リアクションペーパーの内容と提出回数 20%、授業内小テスト 20%による総合評価。社会学の分析枠組み、概念を用いて課題となった社会現象の分析を行うことができれば合格 (60 点)。最終回でレポートの講評を行う。
教科書	『変動する社会と生活』宮本和彦編 八千代出版 2020 年
参考書	なし
履修上の注意	私語厳禁
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	実務英会話		担当教員	伊藤 弥生	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	近年、グローバル化の波が、福祉の分野にも押し寄せつつある。そうしたことから、英語コミュニケーション能力を高めるため、保健医療福祉の様々な状況の場を設定した教材を用いて学修をすすめる。それぞれのユニットの登場人物となり実際に演じるにより将来実際に起こりうる場面でも活用されることを期待している。また、ダイアログやエクササイズから保健医療に関する専門用語などを覚え、関連表現を学び現場で役立つ英会話力を身につける。授業はテーマと場面設定等を複数提示し、それに応じたペア、グループなどを組み、英語でコミュニケーションをとりあうことを重ね、実践に役立てられる英会話力を身につけることを目指す。また福祉英語検定への挑戦の機会としたい。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 英語の保健医療福祉の専門用語を覚え、活用できる ② 介護の場面で使われる英単語や関連表現・フレーズを活用できる ③ コミュニケーションツールとして英語を捉え、恥ずかしがらずに活用できる姿勢を身につける

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業説明（流れ・目的など） & 自己紹介
		予習	教材[英語で福祉を学ぼう]の本書の使い方を読んでおくこと
		復習	特になし
2	実務英会話	授業内容	利用者との面会の場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
3	実務英会話	授業内容	利用者との面会の場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
4	実務英会話	授業内容	食事時間の説明と好き嫌いの聞き方に必要な英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
5	実務英会話	授業内容	食事介助の場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得

6	実務英会話	授業内容	保育施設の場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
7	実務英会話	授業内容	日課 I : 体温と脈拍の測定に必要な英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
8	実務英会話	授業内容	日課 II : 血圧の測定に必要な英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
9	実務英会話	授業内容	自力で起き上がる手順を説明するために必要な英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
10	実務英会話	授業内容	ベッドから車椅子への移動場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
11	実務英会話	授業内容	利用者からの要求に応えるために必要な英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
12	実務英会話	授業内容	足浴とマッサージの場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
13	実務英会話	授業内容	利用者についての会議の場面に即した英単語や英会話を学修する。複数のテーマ・場면을提示し、基本フレーズをもとにペアやグループで英語での会話を実践する。
		予習	新出単語の意味調べ・CD を使用し音読練習
		復習	専門用語と重要表現の修得
14	実務英会話	授業内容	総合的な復習として、これまで学んだ表現や英単語を確認し、まとめる。
		予習	1 から 13 までの重要表現の復習
		復習	提出物の復習

15	実務英会話	授業内容	総合的な復習として、これまでに学んだフレーズ等を用い、学生同士がペアを組み自身で設定したテーマ・場面での会話をプレゼンテーションする。
		予習	学修済みのレポート類の整理
		復習	試験に向けての総復習

評価法基準	定期試験 75%、提出物 25%で総合的に評価する。
教科書	「[英語で福祉を学ぼう] 医療・福祉英語検定試験テキスト」 株式会社 国際教育社・ILC 国際語学センター
参考書	なし
履修上の注意	実際に会話表現を使いロールプレイも行うので、CDでリーディングの練習をしておくといよい。 また、専門用語を正確に覚えること。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	観光学	担当教員	若原 圭子		
実務経験	流通系シンクタンク、大手旅行会社のシンクタンクの研究員・コンサルタントとして30年以上にわたり、ライフスタイル研究、地域活性化、観光・旅行業、ユニバーサルツーリズムに関する事業に携わってきました。その実務経験を活かして、観光が社会や人々や地域に与える影響や意義について学んでいただきます。また、観光に必要なマーケティング思考と人に関わる仕事特有のホスピタリティについて学び、ユニバーサルツーリズムの前提となるツーリズムの基礎を学びます。				
学科	理学療法学科	学年	2 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	国を挙げて力を入れている観光・ツーリズムとはなにか、基本を学ぶ。移動・交流に係る観光を支える産業（旅行、宿泊、観光産業等）の特性や事業の仕組みについて及び観光マーケティング、観光まちづくりなど、地域の観光振興事業等、観光客を受け入れる地域の様々な取り組みなどについて学ぶ。また、OTA（オンライントラベルエージェント）、インパウンド（訪日外国人）、民泊など、近年の動向についてもとりあげる。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 観光の定義と今なぜ観光・ツーリズムなのか自分の言葉で語ることができる ② 観光と福祉の親和性について説明できる ③ 観光を地域活性化につなげる視点を持つことができる ④ 観光マーケティングの意味と必要性を説明できる

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義目的、講義内容、評価方法、ゴールについて、観光の定義・意義について
		予習	シラバスを読んでおくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	観光とは	授業内容	観光の歴史、旅行者の心理・行動、観光産業の福祉との親和性について
		予習	自分の旅行経験を思い出しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	観光市場	授業内容	観光市場の推移とその背景、近年の動向について
		予習	観光の新たな動きを探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
4	観光ビジネス	授業内容	観光産業の特徴、サービスマネジメントで重要なことについて
		予習	身近な観光産業を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	旅行業	授業内容	旅行業の種類、特徴、新たな動向について
		予習	身近な旅行業を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
6	宿泊業	授業内容	ホテル、旅館、民泊、新たな動向について
		予習	身近な宿泊施設を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと

7	交通運輸業	授業内容	航空輸送業・鉄道事業、バス、タクシー等について
		予習	身近な交通運輸業を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	観光施設・事業	授業内容	観光施設・事業、テーマパークについて
		予習	身近な観光施設についてイメージしておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
9	その他の観光産業	授業内容	博物館・動物園・水族館・飲食・小売・サービス業ほかについて
		予習	観光客向けの身近な店舗などについてイメージしておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	観光マーケティング	授業内容	観光地とマーケティングについて
		予習	気になる観光地を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	観光まちづくり、地域活性化	授業内容	観光まちづくり、地域活性化、DMOについて
		予習	観光まちづくりとはなにかイメージしてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
12	インバウンド	授業内容	訪日外国人受入の推移、意義、影響について
		予習	外国人が多く訪問する観光地をイメージしてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	地域交流ビジネス	授業内容	地域交流ビジネス、ニュービジネスについて
		予習	新たなツーリズムのイメージを考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
14	持続可能な観光	授業内容	観光の功罪、持続可能な観光について
		予習	観光地の課題（メリット、デメリット）を考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
15	まとめ	授業内容	まとめ、得られた学びについての発表とディスカッション
		予習	これまでの授業の復習をし、発表の準備をしてくること
		復習	授業内容及び自分の気づきをまとめておくこと

評価法基準	<p>期末レポート 60%、授業内ミニレポート 20%、口頭発表 20%</p> <p>基準：課題レポートは、5つの課題のうち2つを選択して執筆する。理解度、論理性、自身の考えを述べているかなど複数の項目によりその内容を評価する（30点×2テーマ）。</p> <p>フィードバック：講義での疑問点は、随時、全体に向けてフィードバックを行う</p>
教科書	なし（講義後プリント配布）
参考書	<p>「1からの観光」碩学舎</p> <p>「1からの観光事業論」碩学舎 購入は任意</p>
履修上の注意	<p>授業では講義のほか、グループディスカッションを行う。</p> <p>ユニバーサルツーリズムと外出支援 I 受講者はなるべく受講下さい。</p>
オフィスアワー	<p>火曜日（12:10～12:50）、4-5 研究室</p> <p>金曜日（12:10～12:50）、4-5 研究室</p>

科目名	経営学	担当教員	宮地 恵美子		
実務経験	大手企業の経営コンサルタント・シンクタンクの研究者として、企業への経営計画・経営戦略の策定・マーケティング計画策定や分析、それらをもとにした企業等への指導、さらに官公庁・自治体等の各種計画策定・調査分析などの経歴の豊富な教員が、これらの実務に基づいた経験を踏まえ、また様々な企業や自治体・団体等の事例も交えながら、講義を行う。				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 経営について初めて学ぶ学生が興味を持てるように、経営学の基礎的な内容を、実務家教員が実際に直面した経験・事例の紹介を交え、実践的な授業を行う。 「経営」とはなにか、経営学を学ぶ意味・必要性について解説する。 「経営」を構成する要素について分かり易く解説する。 理論的な解説を土台にしつつ、学生自らが主体的に調査し、議論するプロセスを重視する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 「経営」を構成する要素について理解し、説明できる 経営に関する基礎的な理論を理解し、説明できる 身近な企業に関し、経営上の特徴について、自らの言葉で説明できる

No.	テーマ		内容
1	経営学とは	授業内容	経営学とは何か、経営学を学ぶ目的・意義について理解する。
		予習	経営とは何か、自分なりに考えておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
2	組織・人材と経営	授業内容	企業・施設における組織・人材と経営の関係について理解する。
		予習	前回の授業を確認しておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
3	経営戦略・事業戦略	授業内容	経営戦略と事業戦略の役割・目的について理解する。
		予習	前回までの授業を確認し、授業内容に関する企業や商品について調べておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
4	ビジネスモデルと事業コンセプト	授業内容	「ターゲット顧客」と「顧客への提供価値」について理解する。
		予習	前回までの授業を確認し、授業内容に関する企業や商品について調べておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておく。
5	マーケティング	授業内容	マーケティング分析、マーケティング・ミックスについて理解する。
		予習	前回までの授業を確認し、授業内容に関する企業や商品について調べておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておく。
6	商品・サービス	授業内容	「モノ消費」と「コト消費」について理解する。
		予習	前回までの授業を確認し、授業内容に関する企業や商品について調べておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。

7	会計・プレゼンテーション	授業内容	経営に必要な基本的な「会計」について理解する。授業後半では、各自が選んだ企業・商品について、一人ずつプレゼンテーションを行う。
		予習	プレゼンテーションの準備をしておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。
8	プレゼンテーション・まとめ	授業内容	前回に続いて、各自が選んだ企業・商品について一人ずつプレゼンテーションを行う。最後に、授業全体の振り返りを行う。
		予習	プレゼンテーションの準備をしておく。
		復習	授業内容を振り返り、そのエッセンスを整理しまとめておくこと。

評価法基準	期末レポート 60%、プレゼンテーション 40%
教科書	なし。都度、資料を配布する。
参考書	なし。
履修上の注意	身近な事例に関連付けて学ぶこと。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	音楽文化論	担当教員	平野 夏子		
実務経験	音楽療法士として 30 年以上にわたり介護施設、認知症病棟、障害児の発達支援事業所、障害者支援施設、精神障害者自立支援施設等で音楽療法を実践し、その中でポピュラーミュージックから日本の伝統音楽まで、幅広い音楽ジャンルを扱ってきた。この経験をもとに、私たちの暮らしの中にあって、子どもの成長や人々の暮らしに役立つ音楽の魅力を伝え、医療福祉の視点でそれを活用する方法を、学生たちと一緒に考えていきたい。				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	音楽は趣味として楽しむだけでなく生活の中の様々な場面で活用されており、保健医療の現場も例外ではない。生物と人類の歴史の中で音楽はどのように生まれ、どのような社会的機能を果たしてきたのか、様々な文化の中でどのように発展し、また変容してきたのかを、民族音楽学・音楽人類学・音楽社会学の視点から、西洋音楽・ポピュラー音楽・日本の音楽の歴史を通して見ていく。最後に、保健医療の現場での音楽の活用例について紹介する。
到達目標	① 音楽が社会の中で果たしてきた役割を説明できる。 ② 音楽文化に関する基礎知識とリサーチ方法を身につけ、専門分野に応用できる。 ③ 自らの生活をより豊かなものとするために文化芸術に対して関心を持てるようになる。

No.	テーマ		内容
1	現代生活と音楽	授業内容	私達の日常生活の中で音楽がどのように活用されているかを考える
		予習	生活の中で身近な音楽について考えてくる
		復習	授業で学んだことを基に日常場面を観察し気づいたことをメモしておく
2	音楽の起源	授業内容	音楽の起源に関する学説を生物学・人類学と音楽学の二つの観点から紹介する
		予習	音楽はどのようにして生まれたか考えてくる
		復習	授業で紹介したインターネットのサイトを閲覧する
3	音楽の社会的機能①	授業内容	音楽の「感情を伝える機能」について学ぶ
		予習	「悲しい」「嬉しい」「怖い」「優しい」楽曲を1つずつ探す
		復習	自分の知っている音楽を感情別に分類してみる
4	音楽の社会的機能②	授業内容	音楽の「象徴機能」について学ぶ
		予習	各グループに与えられたテーマに相応しい楽曲を1つ探す
		復習	身近な音楽の象徴機能について気づいたことをメモしておく
5	音楽の社会的機能③	授業内容	音楽の「社会的結束を高める機能」について学ぶ
		予習	グループごとに出された課題曲を視聴し、予習する
		復習	身近な音楽の社会的機能について気づいたことをメモしておく
6	民族音楽学①	授業内容	諸民族の音楽文化から音楽の「コミュニケーション機能」について学ぶ
		予習	「民族音楽」のキーワードでインターネットを検索してみる
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する

7	民族音楽学 ②	授業内容	「ホケット唱法」と「ケチャ」を応用したワークを体験する
		予習	アフリカまたはバリの民族音楽を視聴してくる
		復習	ワークを体験して感じたことをまとめておく
8	西洋音楽史 ①	授業内容	古代ギリシャからウィーン古典派までの音楽文化について学ぶ
		予習	馴染みのある映画・ドラマやCMなどで使われているクラシック音楽を探す
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
9	西洋音楽史 ②	授業内容	ロマン派からモダニズムの時代までの音楽文化について学ぶ
		予習	馴染みのある映画・ドラマやCMなどで使われているクラシック音楽を探す
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
10	ポピュラー 音楽史①	授業内容	ジャズとカリビアン・ミュージックについて紹介し、その歴史的背景について学ぶ
		予習	ジャズもしくはカリビアン・ミュージックを1曲視聴してくる
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
11	ポピュラー 音楽史②	授業内容	リズム&ブルースとロック音楽の歴史について学ぶ
		予習	R&BもしくはR&Rを1曲視聴してくる
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
12	日本の音楽 ①	授業内容	日本のわらべ唄や民謡、伝統的な音楽について学ぶ
		予習	自分の出身地の民謡（等）について調べる
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
13	日本の音楽 ②	授業内容	明治・大正から昭和前期までの日本の流行歌について学ぶ
		予習	高齢者に人気の楽曲を検索してくる
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
14	日本の音楽 ③	授業内容	戦後から現代に至る日本の流行歌について学ぶ
		予習	年代別人気曲ランキングを検索してくる
		復習	授業で紹介された楽曲から1曲以上視聴する
15	保健・医 療・福祉の 現場と音楽	授業内容	保健医療福祉の現場で実際にどのように音楽が活用されているか事例を紹介する
		予習	見聞きしたことのある病院や施設などでの音楽の活用例を書き出してくる
		復習	保健・医療・福祉の現場における音楽の活用法をまとめておく

評価法基準	ノート提出 50% 予習復習への取り組み姿勢を評価する 授業内課題レポート 50% 到達目標に照らし合わせて内容を評価する
教科書	資料を作成し配布する
参考書	「音楽の起源」ブラウン・スティーブン&マーカー・ビョルン&ウォーリン・ニルス著 人間と歴史社 「音楽の根源にあるもの」小泉文夫著 平凡社 「音楽行動の心理学」E.ラドシー&J.ボイル著 音楽之友社
履修上の注意	授業の中で資料検索の目的でパソコンまたはスマートフォンを使用することがある
オフィスアワー	前期：金曜日（12:10～12:50）5-8 研究室 後期：水曜日（12:10～12:50）5-8 研究室

科目名	法学	担当教員	山田 守彦		
実務経験	私は、弁護士として、一般民事事件、家事事件、刑事事件等を取り扱ってきましたが、それらは日常生活を営む中で誰もが巻き込まれるような事件が大半です。また、医療事件や労働事件も担当してきました。授業では、基本的知識の修得はもちろん、それら経験を活かし、様々な事例を検討するなどして、将来学生が法律問題に直面した時に、まずは自分で解決方法を考えることができるよう、法的思考力を身につけていただきたいと思います。				
学科・専攻	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	基本法である憲法、民法、刑法の基礎を学習し、社会人として必要とされる法律の知識を身につける。その中で、身近に起こりうる人権侵害、契約トラブル、不法行為、家族間トラブル、犯罪行為、パワハラ・セクハラ等の事例を検討する。また、医療事故、福祉現場での事故事例を取り上げ、施設従事者の刑事上、民事上の責任について学ぶほか、雇用契約上の労働者の権利義務についても学び、社会人生活においても生かせる知識を習得する。
到達目標	① 法が社会生活の中でどのような機能を有しているかを説明できる。 ② 憲法、民法、刑法の基本的知識を説明できる。 ③ 学習した基本的知識を日常生活で生じうる法律問題において適用できる。 ④ 医療・福祉部門で仕事をしていくうえで生じうる法律問題について説明できる。

No.	テーマ		内容
1	法律の学び方	授業内容	法と日常生活の関わり、法律の読み方等について学ぶ
		予習	高校で学んだ公民について復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	法の目的・機能	授業内容	法の存在意義、役割について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	法の存在形式・分類	授業内容	法の存在形式や種類、解釈の方法、三段論法について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
4	憲法①	授業内容	人権の特質、法の下での平等、自由権について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	憲法②	授業内容	社会権、参政権について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
6	憲法③	授業内容	国会、内閣、裁判所、地方自治について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと

7	民法①	授業内容	民法総則、物権法について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	民法②	授業内容	債権法について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
9	民法③	授業内容	不法行為法について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	民法④	授業内容	婚姻と離婚、親子関係、相続について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	刑法①	授業内容	刑法の基本原則、犯罪の成立要件について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
12	刑法②	授業内容	刑事手続きについて学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	労働法①	授業内容	労働法の原理について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
14	労働法②	授業内容	個別的労働関係、集団的労働関係について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
15	裁判	授業内容	裁判制度、その他紛争解決手段について学ぶ
		予習	教科書の該当箇所を通読しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと

評価法基準	定期試験 50%、授業内レポート 50%
教科書	「Next 教科書シリーズ 法学 第3版」高橋雅夫編 弘文堂
参考書	「ポケット六法 令和 53年度版」佐伯仁志、大村敦志他編 有斐閣 「キヨミズ准教授の法学入門」木村草太著 星海社新書
履修上の注意	法律は難しいとか、とっつきづらいとか考えているみなさんも多いかもしれません。 法律を初めて学ぶ学生のみなさんが興味を持てるよう、毎回身近な事例を提示しながら授業を進めていきます。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	国際関係論		担当教員	前田 幸男	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	<p>国際関係論は政治・経済・環境など、今日の国際社会・日本が直面する諸課題を確認し、自身の地球的諸問題への視野・意識の醸成を図り、その解決のために世界的な視野から日常生活のレベルでのライフ・スタイルの転換を促す科目です。</p> <p>また、国際的な事象、問題は極めて身近なものであることを理解してもらいます。経済のグローバル化の負の側面として食の安全が脅かされているといわれている背景を探ったり、地球環境問題はなぜ起きたのか、なぜそれが問題なのかなど、多面的に世界の諸課題を考える機会とします。</p> <p>グローバル化した世界の中で、私たちの生活がどのように世界と繋がっているのか、身近なトピックを取り上げながら検討し、自立した個人として自ら考え、行動するための知識を醸成します。</p>
到達目標	<p>① 同時代としての世界の諸課題をリアルに把握できるようになる。</p> <p>② 国際関係は政府高官だけが作っているのではなく、世界の様々な現場で起きているということをも角的に理解し、説明できるようになる。</p> <p>③ とくに遠い世界で起きているように見えることが、自分の日常生活とどのようにつながっているのかということを理解し、説明できるようになる。</p> <p>④ 日々のニュースで流れる情報の背景を深掘りできるようになり、重要な情報は受け身ではなく、自ら取りに行けるようになる。</p> <p>⑤ 自身のライフ・スタイルを転換していくためのマインドセットを作れるようになる。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業内容の確認と導入。SDGs の意義とその課題
		予習	特になし。
		復習	質問事項などをまとめておくこと。
2	武器よりも社会保障を	授業内容	コスタリカの奇跡：積極的平和国家の作り方
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。
3	水の保全と健康	授業内容	中村 哲から学ぶアフガニスタンでの「リアル」
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。
4	食料安全保障	授業内容	「食」の安全保障はどのように守るのか？
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。
5	人口爆発	授業内容	人口爆発の何が問題か？(カーボン・フットプリントとは何か？)
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。

6	惑星政治	授業内容	気候変動問題の深刻さについて考える
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。
7	地球の息吹を知る	授業内容	ガイア理論とは何か？
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。
8	農業を取り戻す	授業内容	いのちの種と大地の保全
		予習	軽くテーマについての事前調べをしておいてください。
		復習	前回配られたリアクション・ペーパーの作成と提出。

評価法基準	期末試験 60%、リアクション・ペーパーの提出 40%
教科書	なし
参考書	『パワー・シフト：新しい世界秩序に向かって』リチャード・フォーク(2020) 前田幸男、千葉眞、小林誠、小松崎利明、清水奈名子訳 岩波書店
履修上の注意	<p>① 授業スタイルは、パワーポイントを中心とした講義も入りますが、中心は様々な映像を見た後に近くの学生とグループ・ディスカッションを入れる形で進行していく予定です。</p> <p>② 重要なのは、毎回の講義を自分なりに理解し、自分の言葉で応答してみてください。リアクション・ペーパー(リアペ)を毎回、記入・提出してください。映像を結構見ますので、重要だと思ったことは、メモを取っていくことをお勧めします。</p> <p>③ テストは自身で作成したリアペなど、持ち込み可です。資料は自由に見ながらの記述式のテストです。内容の暗記ではなくて、考えたことをアウトプットすることが大事です。</p> <p>④ 授業でわからない用語が出てきた場合は、進んで質問するか、もしくは授業の後に自分でインターネットや図書館などで調べて、自分でキャッチアップしてみてください。</p>
オフィスアワー	UNIVERSAL PASSPORT の授業 Q&A で受け付けます

科目名	職業倫理	担当教員	東根 明人		
実務経験	私は大学教授としての研究倫理委員会および一般社団法人の代表理事の実務経験があります。特に、子どもから高齢者、障がい者、成人を対象とする運動指導や研究開発に携わっている中から、対象とするみなさまへの職業人としての倫理はもとより、ひとりの人間としての倫理観や価値観の大切さを痛感しています。本授業では、これまでの経験や知識を学生のみなさんと共有し、グループ討議を中心に今後の実務に活かす授業を目指します。				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	職業倫理とは、「特定の職業に要請される倫理、または職業人に求められる倫理」であり、職業人としての行動を律する基準・規範のことである。保健医療に係る限り、業務上、個人情報等を得ることがあり、仕事に従事する一人ひとりが、職業倫理を持って働いていくことが求められる。最新の事例なども題材にして、「職業倫理」の涵養に努める。
到達目標	①職業倫理の意義を説明できる。 ②授業においても知識を応用している。 ③相手を尊重した討論ができる。 ④職業倫理とコンプライアンスについて、具体的に述べることができる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業の進め方および職業倫理とコンプライアンスについて
		予習	必要と思われる用語を調べておくこと
		復習	本時の内容をまとめておく
2	職業倫理の意義	授業内容	なぜ職業倫理が必要なのか、もし職業倫理がなかったなら
		予習	重要語句を整理しておく
		復習	小テストと授業内容を確認しておく
3	職業倫理の内容	授業内容	遵法性、公正性、主体性、誠実性、良識性について
		予習	キーワードの意味を調べておく
		復習	予習で調べたキーワードの回答をまとめる
4	7つの原則	授業内容	職業倫理の7つの原則
		予習	これまでの授業を通して、重要と思われる7項目を抽出しておく
		復習	身近な課題と照らし合わせて振り返っておく
5	医療倫理について	授業内容	医療倫理の4原則
		予習	関連事項を調べておく
		復習	医療現場をイメージしながら振り返る
6	プロとして	授業内容	専門職（プロフェッショナル）と職業倫理
		予習	自身の意見をまとめておく
		復習	予習との比較をする

7	事例発表	授業内容	身近な事例を見つけ、口頭発表と質疑応答により知識を深める
		予習	事例発表に備えて、調べた内容をまとめておく
		復習	他者の発表から学んだ点をまとめておく
8	振り返りと 討論会	授業内容	職業倫理の必要性和価値について、議論を進める
		予習	討論会に向けて、要旨を整理しておく
		復習	振り返りと討論会について、レポートとしてまとめる
評価法基準	授業内小テスト 30%、授業内課題レポート 30%、グループ内討議 20%、口頭発表 20%、グループ討議における言動、専門用語に関する小テスト結果、課題に対する取り組む姿勢を特に重視する。		
教科書	なし		
参考書	なし		
履修上の注意	時間や提出期限の厳守は基本であり、学生同士が戒め合い高め合うクラスを期待する。		
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。		

科目名	チームワーク概論		担当教員	清宮 清美、大矢 暢久、 里村 恵子、猪股 英輔	
学科	理学療法学科・作業療法学科（合同）		学年	1 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	理学療法士は、保健医療の専門職として、その専門性を持ちながら、対象者とその家族の生活支援のために多職種や多くの社会資源とのつながりを活用していく視点も重要である。本科目では、講義により、保健医療の現場で行われているチームとしての連携のあり方を、今後に必要なが高まる医療・介護連携を念頭に、医療の回復期や介護保険関連施設での実践を中心に、多職種連携の基本的な考え方を教授する。このことにより、リハビリテーション職として必要な知識や態度を理解し、本学内での多職種連携のための科目である「地域共生のための連携活動Ⅰ・Ⅱ」につなげることや実践現場での連携協働に向けた自らの課題解決能力を養うことを目標とする。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームワーク（多職種連携・多職種協業）の必要性・重要性を理解する。 2. チームの形成の過程を理解する。 3. 実際のチームの事例について知る。 4. 自身のチームに寄与する資質について理解する。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション チーム形成	授業内容	オリエンテーション、チームワークとは、チームビルディング①
		予習	特にない
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ
2	多職種連携	授業内容	介護保険・高齢者施設における多職種連携
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ
3	チーム形成	授業内容	チームビルディング②
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ
4	多職種連携	授業内容	医療機関(リハセンター)における多職種連携
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ
5	チーム形成	授業内容	チームビルディング③
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ
6	多職種連携	授業内容	機関(急性期・回復期)における多職種連携
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ

7	チームの形成	授業内容	チームビルディング④
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ
8	多職種連携 まとめ	授業内容	医療機関(精神科)における多職種連携
		予習	前回の振り返りと資料のまとめの確認
		復習	講義の振り返りと資料等のまとめ

評価法基準	定期試験 50%、授業内グループ課題 30%、授業内小テスト・他 20%
教科書	随時、紹介する
参考書	なし
履修上の注意	詳細は講義初日に伝達する。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	リーダーシップ論		担当教員	片岡 幸彦	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	医療現場では多様な人材が、多様な考え方や背景をもとに業務に当たっている。そういった組織でリーダーシップを発揮するためには、従来のような統率型だけではなく、「チームと個人の成長を支援するリーダーシップ」が求められる。そのためにリーダーシップの二大機能である集団維持機能と課題達成の二大機能を理解し、支援型リーダーとして活躍できる考え方と手法を学ぶ。
到達目標	① リーダーシップの二大機能について理解できている状態 ② 自分の身近な組織で、リーダーシップを発揮できている状態 ③ 自分自身のリーダーシップの傾向が理解できている状態

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	リーダーシップとは何か
		予習	シラバスを読んでリーダーシップとは何かを考える
		復習	学んだことをもとに自分なりのリーダーシップの考え方をまとめる
2	リーダーシップの方向性	授業内容	チームの成長を支援するリーダーの行動
		予習	結果を出している人は何をしているか考える
		復習	自分の身近な人に当てはめて考える
3	対人関係スキル 1	授業内容	リーダーに求められる集団維持機能 1 (チームビルディングのあり方)
		予習	どのようなことがあるとチームがまとまるか考える
		復習	自分の所属する組織でやってみる
4	対人関係スキル 2	授業内容	リーダーに求められる集団維持機能 2 (コミュニケーションのあり方)
		予習	コミュニケーションがうまくいくのはどんな時か考える
		復習	学んだことを活用して身近な人とコミュニケーションをとってみる
5	対人関係スキル 3	授業内容	リーダーに求められる集団維持機能 3 (動機づけのあり方)
		予習	自分はどのようなことがあるとやる気が出るか考える
		復習	身近な人がどのようなときにやる気が出るか調べる
6	課題達成スキル 1	授業内容	リーダーに求められる課題達成機能 1 (ミッション・ビジョン構築)
		予習	分かりやすいビジョンの例を探す
		復習	自分が就職したい企業のミッション・ビジョンを見つける
7	課題達成スキル 2	授業内容	リーダーに求められる課題達成機能 2 (PDCAマネジメント)
		予習	PDCAの用語は何かを調べる
		復習	自分の実施している取り組みをPDCAで再検討する
8	課題達成スキル 3	授業内容	リーダーに求められる課題達成機能 3 (問題解決スキル)
		予習	問題とは、問題解決とは何かを調べる
		復習	自分自身の問題をステップに沿って解決策を考える

評価法基準	定期試験 60%、振り返りレポート 40%
教科書	教科書は特に指定しない。毎回レジユメで対応する。
参考書	授業の中で都度提示する。
履修上の注意	予習が授業の質を高める。必ず予習をしてくること。 授業で学ぶのみならず、自分の所属する組織や自分のことを照らし合わせて考えること。
オフィスアワー	木曜（14:40～16:10）、4-4 研究室

科目名	社会人基礎力	担当教員	長田 久里、野崎 奈穂、 竹内 未帆		
実務経験	<p>(長田)</p> <p>大学卒業後、社会人経験を経て、伊勢丹に入社。婦人雑貨営業部にて、化粧品販売を担当。その後、現・三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズに入社、現職。</p> <p>三越伊勢丹グループ従業員に対する教育の他に、市役所や学校など行政関連、NPO 法人などの行政機関・各種団体に向けた接遇研修を実施。</p> <p>また高級服飾雑貨ブランド、各企業に対する接客研修を数多く実施。店頭販売経験と豊富な基礎教育経験を活かし、人の力を引き出す学びの場を提供します。</p> <p>(野崎)</p> <p>ラグジュアリーブランドのシティホテルにて接客の勤務経験や大学図書館の勤務経験。</p> <p>その後、株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズへ入社、現職。</p> <p>百貨店勤務者へ接遇・マナーや接客にまつわるセミナーに多数登壇。</p> <p>現在は主に一般企業へ接遇セミナーの講師として登壇している。過去の様々なキャリアを活かし、納得性のある教育を行うことを大切にしている。</p> <p>(竹内)</p> <p>大学卒業後、自動車販売店で新車販売の営業として4年間勤務。</p> <p>その後、株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズに入社、現職。</p> <p>三越伊勢丹及びお取引先従業員、グループ企業、外部企業へ、自身の接客経験を活かした接客研修を多数実施。</p> <p>交流分析士、メンタルヘルスマネジメント検定の資格を所有し、心理面からのアプローチも交えながら社会人としての大切さを伝えていく。</p>				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>職場をはじめ地域活動や日常生活に欠かせない要素の一つがコミュニケーションである。</p> <p>近年、SNS の発達により利便性は高まったが Face to Face の心を添わせたコミュニケーションが不足しているのは否めない。</p> <p>自発的なコミュニケーション能力を高めるのは学生時代から習慣化させることが望ましい。</p> <p>経済産業省が提唱した3つの能力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を基軸に12の能力要素を授業に取り入れ、即実践できる人材の養成を目指す。</p> <p>またグループワークで協働し実行する「実践的な授業」を積極的に取り入れる。</p> <p>セルフコントロールを基軸に平常心で相手の話を聴き、心を添わせた「相手を慮るコミュニケーション」を理解し、人間関係における意思疎通と信頼性の重要性を学ぶ。</p>
到達目標	<p>① 多種多様の人々と協働する上で大切な傾聴力を高め、相手にわかりやすく伝えられる</p> <p>② 自ら考え問題点を抽出し、計画、行動化することで自発的の重要性を理解する</p> <p>③ 将来の実務リーダーの役割を担う人材として、リーダーシップの本質を理解する</p> <p>④ セルフマネジメントを定着させることで、円滑なコミュニケーションができるようになる</p>

No.	テーマ		内容
1	チームで働く力（チームワーク） 【規律性】	授業内容	学生と社会人の違い：社会人の環境を理解し意識改革を図る LEGO ブロックを使用し、自己の潜在意識を知る（希望や課題）
		予習	学生と社会人の違いに関して具体的な事例を考える
		復習	社会人になるまでに準備できることを確認する
2	チームで働く力（チームワーク） 【規律性】	授業内容	ビジネスマナー：職場に相応しいマナーの基本
		予習	一般的なマナーとビジネスマナーの違いを考える
		復習	マナーの基本を理解し、信頼関係を築くためのビジネスマナーを実践する
3	チームで働く力（チームワーク） 【発信力】	授業内容	チームを活性化させる：協働の必要性和役割分担
		予習	チームとグループの違いを考える
		復習	チームビルディング体験を通じ、目標達成に向けた役割分担を理解する
4	チームで働く力（チームワーク） 【傾聴力】	授業内容	傾聴力を高める：相手の声を漏らさずに正確に聴きとる
		予習	相手の話に集中して漏らさずに聞くポイントを考える
		復習	顕在化したことだけでなく潜在的なニーズの掘り起こす手法を確認する
5	チームで働く力（チームワーク） 【情報把握力】	授業内容	ロジカルシンキング（基礎）：正確で効率の高い情報整理
		予習	なぜロジカルシンキングが必要か考える
		復習	ロジカルシンキングの基礎を理解し、わかりやすい伝え方を実践する
6	チームで働く力（チームワーク） 【情報把握力】	授業内容	ビジネスコミュニケーション：報告・連絡・相談の重要性
		予習	ビジネスシーンでの報告・連絡・相談を考える
		復習	実際に活用する際のポイントを確認して、社内の報連相の徹底がチームワークにつながることを確認する
7	前に踏み出す力（アクション） 【主体性】	授業内容	セルフコントロール：主体的なモチベーションアップ
		予習	モチベーションの傾向を客観視する
		復習	自分のモチベーションを確認して、主体的なコントロール方法でモチベーション向上につなげる
8	チームで働く力（チームワーク） 【柔軟性】	授業内容	よりよい人間関係を創る：アサーティブ・コミュニケーション
		予習	自己主張について何が必要か考える
		復習	自分も相手も大事にする「アサーティブ・コミュニケーション」のポイントを確認する
9	考え抜く力（シンキング） 【問題発見力】	授業内容	ロジカルシンキング（応用）：問題解決を図る
		予習	第5回（基礎）で学んだ CREC 等のロジックの復習
		復習	フレームワークを活用し物事の根拠を導き出す。導き出した根拠を理解してもらうための有効的な表現力を知り、双方向コミュニケーションを実行する

10	前に踏み出す力（アクション） 【働きかけ力】	授業内容	タイムマネジメント：効率性と生産性を高める
		予習	限られた時間で仕事をするための工夫を考える
		復習	必要なことと、したことに分けて時間を有効に使い、重要度と緊急度の優劣を学ぶ
11	前に踏み出す力（アクション） 【実行力】	授業内容	リーダーシップ：現場活性化と部下の育成指導
		予習	自分が考えるリーダーシップ像を確認する
		復習	組織により信頼関係を築くリーダーシップのスタイルが様々であることを確認する
12	考え抜く力（シンキング） 【創造力】	授業内容	フィールドワーク：現場体験
		予習	実際の職場（人事・労務・教育・店舗等の各分野）の状況想定
		復習	実際に経験して発見したことをまとめる（レポート作成）
13	チームで働く力（チームワーク） 【ストレスコントロール力】	授業内容	ストレスマネジメント：ストレスのセルフコントロール法
		予習	ストレスとは何か。自分にとってのストレスを考える
		復習	自分に合ったストレスコントロール法を把握し、実行項目を決定、プロセス管理する
14	前に踏み出す力（アクション） 【主体性】	授業内容	キャリアプラン：ワークライフバランスと必要なスキル 第1回で実施したLEGOブロックでの希望や課題を行動化するする方法を見つけ出す
		予習	「ライフイベントシート」に現在の時点での人生設計を考える
		復習	「ライフイベントシート」にワークライフバランスを加え「働く意味」を理解する
15	考え抜く力（シンキング） 【創造力】	授業内容	プレゼンテーション
		予習	12回目のフィールドワークで得た経験をまとめプレゼンテーションの準備
		復習	周囲からの学びや、自分へのフィードバックを把握し理解する

評価法基準	定期試験 50%、授業内小テスト・レポート 30% 授業内ディスカッション・プレゼンテーション 20%
教科書	オリジナルでテキスト・パワーポイント作成 自社作成のDVD等を使用
参考書	なし
履修上の注意	テキストを中心に、個人ワーク・グループワークを多く取り入れる。 コミュニケーション力向上のために、積極的に議論や共同作業に臨むこと。 自分から考え行動する「自発性」を発揮すること。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	コミュニケーション論		担当教員	池田 栄治	
実務経験	金融機関やコンサルティング会社で培ってきた「話す・聴く・書く」等の基本的なコミュニケーション能力をベースに、社会人向け研修機関での講師・ファシリテーター経験を活かし、学生のコミュニケーションに関する自己理解と自己表現力の向上を目指します。コミュニケーションに関する最新知識・スキル・心構えについて、インプット、アウトプット、振り返りの繰り返りで将来の社会人、医療従事者にふさわしい実践能力を養います。				
学科	理学療法学科・作業療法学科（合同）		学年	1 学年・2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	社会人にとっての悩みの多くが対人関係といわれている。そして多様性のある人材が集まる組織や職場の中では、これだけコミュニケーションツールが発達していながらコミュニケーションの問題は多くの人々を悩ませている。この科目では、自分のコミュニケーションスタイルを理解した上でコミュニケーションの主要スキルについて体験的に学び、活用できるようにする。さらに様々な対人関係の問題を効果的に解決する手がかりをつかむことをねらいとする。
到達目標	① 自分の特徴について理解し、自分の感情や行動の取り扱いができる状態 ② コミュニケーションとは何かを理解でき、実際に自分の身近な相手に向けて実践できる状態 ③ 自分の感情を率直に主張でき、自信を持って行動できる状態。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	コミュニケーション論の目的、基本、分類、授業の進め方とテスト解説
		予習	コミュニケーションのよく取れている人の特徴を確認してくる
		復習	コミュニケーションの基本を実践して、振り返る
2	コミュニケーションを阻む障害	授業内容	人間関係を破壊するコミュニケーション上の対応
		予習	対人関係がうまくいかなかった時のことを思い出して用意する
		復習	自分の陥りがちな対応に対する改善行動を実践して振り返る
3	自分を理解する	授業内容	自分の行動を客観的に診断する：自己の行動特性、自己肯定感
		予習	事前に自己診断してくる
		復習	他の人にもこの結果を知らせて自分の特徴を聞いてみる
4	自分を活かし制御する 1	授業内容	自律したコミュニケーションのための自己実現と自己管理
		予習	自分の夢と目標を考えてくる
		復習	スケジュール管理の状況をチェックする
5	自分を活かし制御する 2	授業内容	動機付けと「怒り」のコントロール（モチベーションマネジメント、アンガーマネジメント）
		予習	「やる気」や「怒り」の原因を調べてくる
		復習	自己の特徴を踏まえた改善行動を実践して、振り返る
6	相手を理解する	授業内容	「見る力」「聴く」を高める
		予習	自分の日頃の「聴き方」を確認してくる
		復習	学習した基本を実践して、振り返る

7	相手と共有する1	授業内容	「伝え、伝わる力」を高める（個人に対しての対話力）
		予習	自分の日頃の「伝える力」を確認してくる
		復習	自己の特徴を踏まえた改善行動を実践して、振り返る
8	相手と共有する2	授業内容	「伝え、伝わる力」を高める（集団に対してのプレゼンテーション能力）
		予習	集団に伝えたいテーマを考えてくる
		復習	自己の特徴を踏まえた改善行動を実践して、振り返る
9	相手に働きかける1	授業内容	文書・eメールやスライドによるコミュニケーションの基本
		予習	テーマに従った文書を作成してくる
		復習	学習した基本を実践して、振り返る
10	相手に働きかける2	授業内容	対人関係の3つのふるまい方：服従－自己主張－攻撃
		予習	日頃の自分はどのタイプか確認してくる
		復習	自己の特徴を踏まえた改善行動を実践して、振り返る
11	相手に働きかける3	授業内容	問題解決につながる自己主張（アサーション）：双方の要求を満たす解決策
		予習	うまく意図が伝わらず相手と葛藤状態になった時の事例を考えてくる
		復習	学習したスキルを実践して、振り返る
12	コミュニケーションスキル向上1	授業内容	相手との信頼関係を築く方法：ラポール、積極的傾聴と質問他
		予習	信頼できる人の資質や行動特性を考えてくる
		復習	学習したスキルを実践して、振り返る
13	コミュニケーションスキル向上2	授業内容	相手のタイプ別コミュニケーション方法：コーチングとティーチング他
		予習	コミュニケーションの成功や失敗事例とその相手の性格・タイプを調査する
		復習	学習したスキルを実践して、振り返る
14	医療場面のコミュニケーション	授業内容	医療面接や患者家族とのコミュニケーション
		予習	患者目線で望ましい医療従事者としての姿勢や対話は何かを考えてくる
		復習	学習内容と自己の気づきを整理しておく
15	学習のまとめと発表	授業内容	自分の感情や考えを率直に発表する、他者の発表を積極的に傾聴する
		予習	プレゼンテーションの準備
		復習	フィードバックから得られた教訓をまとめる

評価法基準	筆記試験 50%。口頭発表：40%、発表へのフィードバックレポート 10% 基準：口頭発表は最終回のまとめ発表の表現能力や内容等を評価する。発表へのフィードバックレポートは、他者の口頭発表を傾聴、観察、働きかける表現能力等を評価する。
教科書	教科書はなし、毎回レジュメを配布する
参考書	「ピープル・スキル」ロバート・ボルトン著 宝島社 「PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド」山口美和著 医学書院
履修上の注意	全回出席して、クラス討議に貢献すること。第15回目の発表会には必ず出席すること 予習が授業内容の理解力やクラス討議の質を高める。必ず予習をしてくること。 教室で学ぶのみならず、学習内容を自分の所属する組織や周囲の人に実践して、振り返ること。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	コミュニケーション論	担当教員	片岡 幸彦		
実務経験	コンサルティング・ファームで、マネジメント能力向上の教育面での支援を実施してきました。様々な人達が集まる組織では、個人の悩みの70%近くはコミュニケーションの問題と言われています。コミュニケーションスキルで大事なことは、どのようにすればいいかの前に、「自分はどのような人間なのか」を内省することです。毎回いろいろな個人診断を行うことで自分自身を理解し、小演習を通じてコミュニケーションスキルを高めます。				
学科	理学療法学科・作業療法学科（合同）	学年	1学年・2学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2単位	時間数	30時間	回数	15回

授業概要	社会人にとっての悩みの多くが対人関係といわれている。そして多様性のある人材が集まる組織や職場の中では、これだけコミュニケーションツールが発達していながらコミュニケーションの問題は多くの人々を悩ませている。この科目では、友好的なコミュニケーションを阻む要因を手掛かりに、コミュニケーションの主要スキルについて体験的に学び、活用できるようにする。さらに様々な対人関係の問題を効果的に解決する手がかりをつかむことをねらいとする。
到達目標	① 自分の特徴について理解し、自分の感情や行動の取り扱いができる状態 ② コミュニケーションとは何かを理解でき、実際に自分の身近な相手に向けて実践できる状態 ③ 自分の感情を率直に主張でき、自信を持って行動できる状態。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	コミュニケーション論の目的、範囲、授業の受け方、テスト内容
		予習	コミュニケーションのよく取れている人の特徴
		復習	自分のコミュニケーションの特徴は何かを考える
2	コミュニケーションを阻む障害	授業内容	人間関係を破壊するコミュニケーション上の対応
		予習	対人関係がうまくいかなかった時のことを思い出して用意する
		復習	自分の陥りがちな対応を具体的に検討する
3	自分を理解する力1	授業内容	自分の行動を客観的に診断する：自己の行動特性
		予習	「あなたはどんな人ですか？」と聞かれた時の答えを考えてくる
		復習	他の人にもこの結果を知らせて自分の特徴を聞いてみる
4	自分を理解する力2	授業内容	自分の強み・良い面に気づき生かす：自尊感情、自己効力感
		予習	自分の強みや良い面は何か整理してくる
		復習	自分の強みや良い面をまとめる
5	自分を理解する力3	授業内容	自分の動機や価値観に気づく：内発的動機づけとの関係
		予習	どのような時にやる気になるか、何があるとのめり込めるか
		復習	自分の感情を引き起こしている源泉を理解する
6	自分を理解する力4	授業内容	自分取り扱い説明書：自己の特性まとめ
		予習	自己の特性を振り返る
		復習	取り扱い説明書の作成

7	相手を理解する力1	授業内容	非言語的コミュニケーション：五感による観察
		予習	相手の言っていることと感情のズレに気づく
		復習	これまでの経験を考えてみる
8	相手を理解する力2	授業内容	集中して話を聴く：返報性の法則
		予習	相手に話を聴いてもらうとどのような気持ちになるか考える
		復習	周りの人の話をいつもより集中して聞いてみる
9	相手を理解する力3	授業内容	相手の話を積極的に聴く：共感的理解
		予習	相手のどのような聞き方が自分にとって安心して話せるか
		復習	学習したことを実践する
10	相手を理解する力4	授業内容	相手の気持ちを感じ取り理解したことを伝える：Iメッセージ
		予習	相手の反応の仕方でのそのような感情の違いが出るか
		復習	学習したことを実践する
11	相手に働きかける力1	授業内容	対人関係の3つのふるまい方：服従－自己主張－攻撃
		予習	日頃の自分は傾聴？自己主張？か振り返る
		復習	自分の傾向を客観的に振り返る
12	相手に働きかける力2	授業内容	自分の主張を伝える準備：3つのステップ
		予習	相手とうまくいかなかった時の反応を振り返る
		復習	自分の主張が相手に与える影響を考える
13	相手に働きかける力3	授業内容	自分の考えを伝える：自己主張のメッセージ
		予習	自分の考えをどのように伝えているか
		復習	相手との関係をどのようにしたいか考える
14	相手に働きかける力4	授業内容	問題解決につながる自己主張：双方の要求を満たす解決策
		予習	相手と葛藤状態になった時の自分の感情を整理する
		復習	学習した考え方を活用する
15	これまでの学習まとめ	授業内容	効果的なコミュニケーションを実践するための留意点
		予習	これまでのまとめを行う
		復習	これまで学習したことを活用して実践する

評価法基準	定期試験 40%、授業内レポート 60%
教科書	教科書はなし 毎回レジュメを配布する
参考書	「ピープル・スキル」ロバート・ボルトン著 宝島社 「EQ こころの知能指数」ダニエル・ゴールドマン 講談社
履修上の注意	全回出席して、クラス討議に貢献すること。 予習がクラス討議の質を高める。必ず予習をしてくること。 授業で学ぶのみならず、自分の所属する組織や自分のことを照らし合わせて考えること。
オフィスアワー	木曜（14:40～16:10）、4-4 研究室

科目名	国際協力論		担当教員	上野 悦子	
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

<p>授業概要</p>	<p>国際協力論では、誰もが幸せに暮らすための考え方や方法を学びます。それは海外でも国内でも同じことで、日本国内での取り組みからも学ぶことができます。</p> <p>新型コロナウイルス（COVID-19）は世界に影響を及ぼし、またロシアのウクライナ侵攻で世界の様相が大きく変化しています。</p> <p>国際協力論では、グローバルな動きとコミュニティでの動きの両方の活動を学び、私たちが進む方向を見据えていきます。</p> <p>詳細は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルレベル：SDG s（持続可能な開発目標）、国連障害者権利条約、アジア太平洋地域の動き ・コミュニティレベル：WHO が提唱した CBID(地域に根ざしたインクルーシブ開発)の考え方と実践 <p>CBR ガイドラインの作成の中で作られた CBR マトリックスは日本でも包括的に現状をとらえたり次のステップを考えるツールとして使うことができます。授業では CBR マトリックスを使うミニワークショップを体験します。</p> <p>CBID のもとにある参加型開発も学びます。</p> <p>国際協力事例としては、医療・障害分野を中心に政府と民間団体による協力活動の現状と課題を学びます。</p> <p>国際協力を行うには、まず相手国の人たちが大切にしている価値を含めた現状とその背景をよく理解することが重要で、日本人を含む外部者の思い違いによる協力活動は避けなければなりません。外部者である私たちの役割を含めて、国際協力に関することを様々な角度から一緒に考えてみましょう。</p> <p>授業ではグループワークも取り入れます。</p> <p>また去年は授業中にアジアの障害のある人とオンラインでつないで話しを聞きました。今年度も可能な限り取り入れる予定です。</p>
<p>到達目標</p>	<p>国際協力の考え方、活動、現状と課題を説明できるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本、そして地域はつながっていることを理解し、俯瞰的で包括的な視点を持ち討議できるようになること。 ・CBID の考え方を理解し、障害のある人や高齢者で困っている人が地域につながるために何が必要かを見るため、CBR マトリックスが使えるようになること。 ・アジアの国々を中心とする海外への理解を深め、将来青年海外協力隊への参加などを含めた国際協力活動に関心を持ち続けるようになること。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業全体の目的および各授業説明 ・国際協力の概要、考え方、参考文献の紹介
		予習	考文献に目を通しておく。さらに自分で調べてみる。
		復習	参考文献の中から関心のあることについて自分でも調べてみる
2	SDGs の基礎	授業内容	・MDGs（ミレニアム開発目標）からSDGsへの流れ、SDGsの考え方、日本の取り組み(政府と民間) ・障害分野とSDGs
		予習	SDGsについて参考図書、外務省のHPなどに目を通しておく。
		復習	SDGsの17のゴールの中からひとつを選び、それについて考えたことを翌週口頭で発表
3	障害と国際文書	授業内容	・復習の結果発表① ・障害関連国際文書の概要：国連の障害関連文書、国連障害者権利条約、CBRガイドラインなど主要な国際文書とそれがどのように使われてきたかについて。
		予習	講義で扱う資料に目を通しておく
		復習	国連文書の名称と要点を理解する
4	日本政府の国際協力(障害分野)	授業内容	・日本政府の障害分野に関する国際協力の方針と活動 ・国際協力の日本政府の考え方(国際協力大綱) ・障害分野の国際協力(障害者白書) ・JICAの障害分野の国際協力(JICA課題別指針「障害と開発」)
		予習	自分で調べてみる。
		復習	資料をよく読む
5	参加型開発とPCM	授業内容	・国際協力では、途上国の援助の受け手である住民が参加する参加型開発という考え方・手法が広まっている。その概要と研修であるPCM(プロジェクトサイクルマネジメント)の基礎を学ぶ。
		予習	資料を読んでおく。
		復習	PCMを使ってみる
6	インタビュー・報告書作成準備	授業内容	国際協力を行っている日本の民間団体の活動報告の準備 1. インタビューの内容と方法を学習：聞く人、聞かれる人、記録・タイムキーパーに分かれてすべてを体験する。なお、実際のインタビューは、COVID-19の完成状況により、訪問、電話、ズームなどの方法から選ぶこととする。 2. 報告書作成の準備。 ・7W1H(誰が、誰と、だれのために、いつ、どこで、何を、なぜ、どうやって活動する・した)をもとに活動を聞き出し、報告書へのまとめ方を理解する。 ・活動の背景や活動した上でどのような変化があったのか(なかったのか)についても可能なら調べる。
		予習	資料を見て関心のある団体を探す。資料はあらかじめ提示する。
		復習	質問項目を書き出してみる。

7	国際協力の事例研究	授業内容	民間団体による国際協力の事例研究（ウェブサイト、文献より） アジアの障害者活動を支援する会（ADDP）（ラオスでの障害者スポーツ、就労支援） 日本点字図書館（機材提供からはじまる活動、養成した人材が次の人を養成、東南アジア） 日本キリスト教海外医療協力会（専門職による協力、バングラデシュ） アジア保健研修所（保健ワーカー対象研修とその基本となる考え方、参加型研修を行う団体として中学校の英語の教科書に掲載された。アジア） など。なお団体は変わることがあります。
		予習	HP で調べておく。
		復習	レポートの準備
8	CBR から CBID へ	授業内容	WHO が 1980 年代から途上国の障害のある人と家族のために取り組んできた CBR（地域に根ざしたりハビリテーション）は、その後、CBID（地域に根ざしたインクルーシブな開発）へと変遷。何がどう変わってきたのか(変わらないのか)を理解する。
		予習	『CBR から CBID へ』を読んでおく。
		復習	上記の再読
9	CBR マトリックス	授業内容	CBR ガイドラインが作成した途中で作成された CBR マトリックスの概要とそれに基づくミニワーク。自分の今の状況、団体や地域の現状を見ることに使ってみる。
		予習	CBR ガイドラインを読んでおく。
		復習	CBR マトリックス使用例を作成し、翌週口頭発表。
10	CBID 事例研究(海外)	授業内容	復習の結果について口頭での発表② 発表は一人一つとする。 CBID 事例研究（海外）、主に東南アジアで実践されている事例を文献から理解する。
		予習	あらかじめ紹介する資料を読んでおく。
		復習	事例をまとめてみる。
11	CBID 事例研究(海外)	授業内容	CBID 事例研究(続き)
		予習	1 週間前までに紹介する資料を読んでおく、
		復習	事例をまとめてみる。
12	CBID 日本での CBID 的な事例	授業内容	日本での CBID 的な活動（インクルーシブな地域づくり）の事例紹介
		予習	あらかじめ紹介する資料を読んでおく。
		復習	事例をまとめてみる。
13	発表	授業内容	団体へのインタビュー結果の発表とフィードバック
		予習	発表の準備、発表の時間、方法などは近くなってから提示する。
		復習	必要な修正を含めて提出するレポートに反映させる。
14	発表(続き)	授業内容	発表の続きとフィードバック 新たな国際交流・協力（NGO と企業との連携、障害のある人の交流・協力）
		予習	レポート提出について質問があれば考えてくる
		復習	レポート提出の準備
15	レポート提出・全体のまとめ	授業内容	レポートの提出および授業全体のまとめ
		予習	レポート提出準備
		復習	授業全体でもっとも印象に残ったこと(複数回答でもよい)とその理由を終了後提出。

評価法基準	<p>発表：60%（うち20%は2回の復習の結果発表を含む。それ以外の内訳はレポート提出と同じとする）</p> <p>レポート提出：40%（内訳は、必要項目*、自分の考え、日本語の表現力など）</p> <p>*必要項目は授業で示す。</p> <p>出席率：3分の1以上欠席の場合、レポート提出および発表の資格を失う。</p> <p>レポート提出：1回</p> <p>発表：1回（他に復習の結果発表2回）</p> <p>授業では講義のほか、ディスカッション、ミニワークも含まれます。</p>
教科書	なし
参考図書	<p>『CBR から CBID へ』</p> <p>マヤ・トーマス氏発表原稿（2019年モンゴルでの第4回CBID会議）の日本語訳、発行：リハ協ブックレット（1）、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、2019年「CBRガイドライン」</p> <p>（2010年WHO, ILO他）日本語訳：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、2018年 https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/intl/un/CBR_guide/index.html</p> <p>それ以外の参考図書は授業中に示す。</p>
履修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2回目から授業の冒頭で前回の授業のレビューを行います。 2. 関心をもったことは積極的に自分で調べるようにしてください。 3. 授業内容には変更が生じることもありますので変更の際は事前にお知らせします。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	スポーツボランティア I	担当教員	杉山 真理		
実務経験	長年、パラ陸上のボランティアを努めてきました。選手の練習サポートや大会運営の補助（受付、記録証作成、審判補助等）などです。また、パラ陸上のクラス分け委員としての活動も 20 年近くになります。さまざまな経験を通して、理学療法士としてのアイデンティティが熟成されてきたように思います。ボランティア活動の動機づけと目的を意識し、自ら学び、行動する力を身につけられるように学びます				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>さまざまな領域でボランティア活動が展開されている。本講義では、ボランティア活動の価値、意義、役割、実際の活動等について理解を深める。</p> <p>さらに、スポーツ活動に対する支援活動に焦点をあて、価値、意義、役割、実際の活動について理解を深めると共に、専門職としての知識を生かし、障がい者スポーツについて理解する。</p>
到達目標	<p>①ボランティアについて概要を理解する。</p> <p>②ボランティア活動の社会的役割を理解する。</p> <p>③スポーツボランティアの概要を理解する。</p> <p>④自身におけるボランティア活動の位置づけを考える。</p> <p>⑤障がい者スポーツについて理解する。</p>

No.	テーマ	内容	
1	概論	授業内容	オリエンテーション、障がい者スポーツの意義と理論
		予習	自身のボランティア経験についてまとめておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
2	ボランテ ィア	授業内容	ボランティアの歴史と概要・活動の基本的姿勢、さまざまなボランティア活動の実践報告、動機づけについて
		予習	ボランティアに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
3	スポーツ ボランテ ィア	授業内容	スポーツボランティアの概要、スポーツ基本計画、指導者制度
		予習	スポーツボランティアに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
4	スポーツ ボランテ ィア	授業内容	スポーツインテグリティ、指導者に求められる資質
		予習	スポーツボランティアに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと

5	障がい者のスポーツ	授業内容	障がい者スポーツの歴史（国内・国際）
		予習	障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
6	障がい者のスポーツ	授業内容	障がい者とは、疫学、障がい者のスポーツに関する諸施策 スポーツ基本計画と障がい者のスポーツの振興
		予習	障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
7	障がい者のスポーツ	授業内容	障がい者のスポーツ指導における留意点
		予習	障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
8	障がい者のスポーツ	授業内容	全国障害者スポーツ大会の障害区分とクラス分け
		予習	障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
9	障がい者のスポーツ	授業内容	視覚障がい者のスポーツ①
		予習	視覚障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
10	障がい者のスポーツ	授業内容	視覚障がい者のスポーツ②
		予習	視覚障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
11	障がい者のスポーツ	授業内容	重度障がい者のスポーツ①
		予習	重度障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
12	障がい者のスポーツ	授業内容	重度障がい者のスポーツ②
		予習	重度障がい者のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
13	障がい者のスポーツ	授業内容	肢体不自由者（車椅子）のスポーツ①
		予習	肢体不自由者（車椅子）のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと

14	障がい者のスポーツ	授業内容	肢体不自由者（車椅子）のスポーツ②
		予習	肢体不自由者（車椅子）のスポーツに関する日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
15	まとめ	授業内容	障がいに応じたスポーツの考案
		予習	過去の授業内容および疑問点をまとめておくこと
		復習	過去の授業内容をまとめておくこと

評価法基準	定期試験 60%、授業内レポート 40%
教科書	なし
参考書	障害のある人のスポーツ指導教本（初級・中級） 日本障がい者スポーツ協会編、ぎょうせい 障がい者スポーツ指導者の資格取得希望者は用意すること
履修上の注意	自身がスポーツボランティアとして参加するイメージを持って受講すること
オフィスアワー	木曜（昼休み 12：10～13：00） 3-25 研究室

科目名	スポーツボランティアⅡ	担当教員	杉山 真理		
実務経験	長年、パラ陸上のボランティアを努めてきました。選手の練習サポートや大会運営の補助（受付、記録証作成、審判補助等）などです。また、パラ陸上のクラス分け委員としての活動も 20 年近くになります。さまざまな経験を通して、理学療法士としてのアイデンティティが熟成されてきたように思います。ボランティア活動の動機づけと目的を意識し、自ら学び、行動する力を身につけられるように学びます。				
学科	理学療法学科	学年	2 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	実習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	スポーツボランティア活動の現状を調べるとともに、実際にボランティア活動を体験する。その体験の中から、ボランティアの役割と意義、イベントや組織の運営方法・システムづくりを学ぶ。さらに、多くの関係者・仲間と協働する経験をもち、専門職として必要とされるコミュニケーション能力と社会性を身につける。
到達目標	①ボランティア活動前の準備および体験を通じた学びから、社会性とコミュニケーション能力を養う。 ②スポーツ分野におけるボランティア活動の目的・意義・役割を理解できる。 ③ボランティア活動を通じて、様々な立場・価値感・生き方があることを知り、共生社会について理解を深める。

No.	テーマ		内容
1	概要、復習	授業内容	オリエンテーション
		予習	パラスポーツに関するニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
2	基礎知識	授業内容	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫
		予習	日々のニュースやトピックスに興味を持ち、触れておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
3	基礎知識	授業内容	全国障害者スポーツ大会について
		予習	配布された資料を熟読し、理解を深めておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
4	活動計画 1	授業内容	ボランティア活動計画の作成（リサーチ、活動内容、留意点等）
		予習	配布された資料を熟読し、理解を深めておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
5	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
6	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく

7	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
8	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
9	まとめ	授業内容	活動報告資料作成、活動報告プレゼンテーション
		予習	活動内容を整理し、まとめておく
		復習	イベントへの参加を通じて、自身におけるボランティア活動の位置づけを考える
10	活動計画 2	授業内容	ボランティア活動計画の作成（リサーチ、活動内容、留意点等）
		予習	配布された資料を熟読し、理解を深めておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
11	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流、各障がいの体験
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
12	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流、各障がいの体験
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
13	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流、各障がいの体験
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
14	活動の実際	授業内容	障害のある人々との交流、各障がいの体験
		予習	参加するイベントの概要及び自身の役割について確認しておく
		復習	活動内容を整理し、まとめておく
15	まとめ	授業内容	活動報告資料作成、活動報告プレゼンテーション
		予習	活動内容を整理し、まとめておく
		復習	イベントへの参加を通じて、自身におけるボランティア活動の位置づけを考える

評価法基準	授業内レポート 50%、口頭発表 50%
教科書	なし
参考書	「障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）」ぎょうせい ※障がい者スポーツ指導員（初級）の取得を目指す者は準備すること
履修上の注意	スポーツボランティア 1 を履修していること 単にボランティアを体験するだけではなく、どんな課題に取り組み、何をするのかを考えながら参加すること。積極的な取り組みが必要です。
オフィスアワー	木曜（昼休み 12：10～13：00） 3-25 研究室

科目名	地域ボランティア論		担当教員	菊地 みほ	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	地域で開催されているボランティア活動について、その理念となるボランティアの誕生から日本での歴史、最新の活動事例まで幅広く考察する。また近年、注目を集めている災害ボランティアについてもその心得や事例を解説し、理解を深める。アメリカのサービスマニッシュや国際ボランティア活動等も紹介し、ボランティアについて広く深く学ぶ。自分の住んでいる地域のボランティアセンターについても調べ、将来の活動に繋がるような授業とする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア理念について理解し、説明することができる。 ② 地域ボランティア、災害ボランティア、国際ボランティアについて説明することができる。 ③ 新しい公共という概念を理解し、ボランティア活動への関心を高める。 ④ 自分なりの視点で現在のボランティアの問題・課題について論じることができる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義概要、履修上の留意点、「地域ボランティア」とは何か
		予習	「地域」「ボランティア」という言葉から思い浮かぶものをメモすること。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
2	ボランティアの理念	授業内容	ボランティア理念の誕生と展開
		予習	「ボランティア」という言葉について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
3	日本のボランティアの歴史	授業内容	日本のボランティアに関する歴史と施策の展開
		予習	「ボランティア元年」という言葉について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
4	アメリカのサービスマニッシュ	授業内容	アメリカにおけるボランティアの歴史とサービスマニッシュ
		予習	「サービスマニッシュ」という言葉について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
5	地域ボランティア事例 (児童)	授業内容	子どもに関するボランティア活動の留意点とその事例
		予習	日本の児童関連施設について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
6	地域ボランティア事例 (高齢者)	授業内容	高齢者に関するボランティア活動の留意点とその事例
		予習	日本の高齢者関連施設について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
7	地域ボランティア事例 (障害者)	授業内容	障害者に関するボランティア活動の留意点とその事例
		予習	日本の障害者関連施設について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。

8	災害ボランティアとは	授業内容	日本における災害ボランティアの展開について
		予習	「災害ボランティア」という言葉について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
9	災害ボランティアの心得	授業内容	災害ボランティアとして必要な知識と心得
		予習	災害ボランティアセンターについて調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
10	災害ボランティアの活動事例	授業内容	災害ボランティアの活動事例について
		予習	過去に起こった災害とボランティアの記事を検索しておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	国際ボランティアとは	授業内容	国際ボランティアの誕生と展開について
		予習	「国際ボランティア」という言葉について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
12	国際ボランティアの活動事例	授業内容	国際ボランティアの活動事例紹介
		予習	「NGO」について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
13	NPOのボランティアについて	授業内容	NPOで活動している方に現場のお話を聞く
		予習	「NPO」について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
14	江東区のボランティア事情	授業内容	大学のある江東区のボランティア事情について現場の話聞く
		予習	江東区ボランティアセンターについて調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
15	総まとめ	授業内容	全ての授業を通した振り返りとまとめ
		予習	これまでの授業のまとめを読み直しておくこと。
		復習	授業内容をまとめ、試験に向けて整理すること。

評価法基準	期末レポート 100%
教科書	なし。講義については毎回レジュメと資料を配布する。
参考書	なし。
履修上の注意	なし。
オフィスアワー	木曜（12:10～12:50）、6-8 研究室

科目名	地域防災	担当教員	澤田 千秋		
実務経験	東京 23 区の職員として 30 年以上にわたり第一線で地方自治の仕事に携わってきた。東日本大震災の際には、被災地支援として延べ七千人以上の職員を派遣した経験を持つ。また、首都直下地震対策や大規模水害広域避難等についても取り組んできた。こうした経験をもとに、実務者の目から見た現状と課題を伝えると同時に、学生一人ひとりが自分事として防災問題をとらえられるよう指導していきたい。				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	わが国における防災行政、地域防災計画、市民活動による防災のまちづくり等、地域防災の理論と実践について学ぶ。前半では、日本の災害の歴史、災害の地域特性、防災および災害支援行政の変遷について理解する。後半では防災のまちづくりとソーシャルワーク、「防災福祉」概念、学校および福祉施設における防災活動、地域における防災・減災ネットワークの構築等について学ぶ。地域防災に取り組む先進自治体の事例や災害ボランティアの事例を多く学び、防災ゲームの体験ワークショップ、地域特徴別の防災マップ比較検討のグループワーク等を行うことで、受講生に地域防災のリーダーとしての資質や実践力を涵養することを目標とする。
到達目標	<p>① リハビリテーション専門職として、災害法制度を踏まえた地域防災の役割と機能について具体的に説明できる。</p> <p>② 復興支援の課題について具体的に指摘し説明できる。</p> <p>③ 防災の先進自治体事例を通してメリット・デメリットを指摘しトータルな解決策を提案できる。</p>

No.	テーマ		内容
1	災害の定義と歴史	授業内容	災害の定義と種類を理解するとともに、我が国の災害の歴史や特徴についても学ぶ。
		予習	災害の種類について、文献やインターネットで調べる。
		復習	歴史上の災害から学んだことをリストアップし整理しておく。
2	災害の地域特性①（地震災害）	授業内容	阪神淡路大震災、中越震災等を通して地震災害の地域特性を学ぶ。
		予習	阪神淡路大震災、中越震災の災害状況のデータを文献やインターネットで調べる。
		復習	阪神淡路大震災、中越震災の地域特性を整理しまとめておく。
3	災害の地域特性②（津波災害）	授業内容	東日本大震災等を通して津波災害の地域特性を学ぶ。
		予習	東日本大震災の災害状況の数値データを文献やインターネットで調べる。
		復習	東日本大震災の地域特性を整理しまとめておく。
4	災害の地域特性③（気象災害）	授業内容	台風などによる洪水や土砂崩れなどの大きな被害が発生した事例を通して、気象災害の地域特性を学ぶ。
		予習	西日本豪雨の災害状況の数値データを文献やインターネットで調べる。
		復習	気象災害における地域特性を整理しまとめておく。

5	災害の地域特性④（火災災害）	授業内容	過去に大きな被害を与えた事例を通して火災災害の地域特性を学ぶ。
		予習	糸魚川大規模火災の災害状況の数値データを文献やインターネットで調べる。
		復習	大規模火災における地域特性を整理しまとめておく。
6	災害への公助・共助・自助のあり方	授業内容	我が国の災害関連法の変遷の過程を概観し、行政の役割とその限界を学ぶ。
		予習	公助・共助・自助の基本的な考え方を文献等で調べる。
		復習	災害行政のあり方について考え方を整理し、まとめておく。
7	地域防災計画	授業内容	災害対策基本法における防災計画の全体像を概観し、地域防災計画の位置づけやその果たすべき役割について学ぶ。
		予習	自主防災組織などの地域防災活動の具体例をインターネット等で調べ、要点をまとめておく。
		復習	地域防災計画における地域の防災活動の役割の重要性について整理してまとめておく。
8	防災の街づくり	授業内容	地区防災計画の意味と意義を把握し、行政と地域住民の役割を学ぶ。
		予習	先進自治体事例を文献で調べ、その要点をまとめておく。
		復習	先進自治体事例を考察し、メリット・デメリットを整理しておく。
9	防災・減災・縮災	授業内容	防災・減災・縮災の基本的考え方を理解し、その上で、タイムライン（防災行動計画）について具体的に学ぶ。
		予習	防災・減災・縮災の基本的考え方を文献やインターネットで調べる。
		復習	具体的な災害を想定して、各自でタイムラインを策定しておく。
10	地域防災のネットワーク	授業内容	要配慮者名簿の作成・運用などを通して、個人、家族、地域社会、行政の連携・協働について学ぶ。
		予習	連携・協働の具体的なメンバー、専門職、施設・機関等を文献で調べる。
		復習	地域防災のネットワークの関連性をまとめておく。
11	被災者支援	授業内容	災害救助法等を通して、発災後の応急期における行政の役割を学ぶ。
		予習	災害救助法の基本的考え方を文献やインターネットで調べる。
		復習	行政の役割、民間の役割、行政と民間の連携について整理しまとめておく。
12	避難所運営	授業内容	難所運営ゲーム(HUG)などの体験を通じて行政や災害ボランティアの役割を学ぶ。
		予習	避難所での災害ボランティア活動について、具体例を調べる。
		復習	避難所の運営の要点及び留意点を整理し、まとめておく。
13	住まいの復興	授業内容	仮設住宅、災害公営住宅、復興公営住宅等の役割と機能を具体的に学ぶ。
		予習	仮設住宅、災害公営住宅、復興公営住宅のそれぞれの特徴を調べる。
		復習	住まいの復興にとって上記3つの住宅の持つ意味についてまとめておく。
14	復興の街づくり	授業内容	復旧から復興への動きの特徴、災害復興関連の法制度と行政の役割等を学ぶ。
		予習	災害復興関連の法制度を文献やインターネットで調べ、その要点をまとめておく。
		復習	災害復興の自治体事例を考察し、そのメリット・デメリットを整理しておく。
15	今後の地域防災における課題	授業内容	現在の地域防災における問題点について整理し、今後の課題を明確にする。
		予習	防災対策における問題点を文献やインターネットで調べる。
		復習	今後の地域防災における課題について、考えをまとめておく。

評価法基準	<p>期末レポート（関心を持ったテーマを選択して作成） 60%</p> <p>リアクションペーパーの内容と提出回数（授業の感想・質問等で理解度や意欲を評価する。） 40%</p>
教科書	教科書は特になし
参考書	授業時に適宜、紹介する
履修上の注意	<p>ゲストスピーカー（行政の防災担当者等）を招く予定もあるので、積極的な参加態度で課題に取り組むこと。リハビリテーション専門職として、問題意識をもって講義に臨むこと。</p>
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	建築・まちづくり		担当教員	實方 理佐・村瀬 大作	
実務経験	<p>(實方)</p> <p>私は、都市計画コンサルタントとして、市区町村の都市計画の策定、地域住民のまちづくり活動の支援、高齢者や障害当事者の方と協働して、バリアフリーのまちづくりの基本構想やガイドラインの検討等を行ってきました。当科目では、生活に関わる建築・まちづくりの制度理解、健康に暮らし続けられるまちづくりに必要な課題解決のための主体的な学びにつながるよう、体験実習やグループワークを取り入れた講義を行います。</p> <p>(村瀬)</p> <p>地方自治体のマスタープラン等の構想・計画作成から、地域住民等と協働した地区の計画等の作成のほか、それら計画の事業化に関し、行政、住民、各種事業者等と連携した建築・まちづくりの実務を行っている。講義・演習等においては、建築・まちづくりの基礎概要のほか、具体取組み事例やグループワークを通じて都市や建築と保健医療の関係性を理解し、自らもまちづくりの主体のとして関わる重要性の気づきを促す教育を行う。</p>				
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	講義を通して、建築・まちづくりの歴史、現在の法制度におけるまちづくりの状況を知るとともに、建築・まちづくりの基礎知識を得る。また、都市政策の取組みの方向性や市民の関わり方、福祉分野の体験実習等を通して、まちと保健医療についての理解を深める。
到達目標	<p>①都市計画の発祥と生活に関わるまちのスケールについて理解を深める</p> <p>②建築・まちづくりに関する各種法制度等について説明できる。</p> <p>③まちづくりの各主体について理解し、その主体として協調し、議論できる。</p> <p>④防災・福祉についてのまちの課題を理解し、保健医療との関係性を説明できる。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義目的、講義概要
		予習	なし
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	市民生活と都市・建築物	授業内容	市民生活とまちのスケール、都市の構成要素
		予習	建物の種類（用途の種類）について調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと。
3	近代都市計画	授業内容	近代都市計画と都市整備の基礎
		予習	「都市計画」「都市整備」の用語について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。 課題レポート①（第5回に提出すること）：出身地又は現居住地のまちの歴史（図版類等活用。複数時点）についてまとめる。A3用紙1枚にレイアウトすること。

4	都市計画とまちづくり	授業内容	都市計画・まちづくりのスケール
		予習	都市計画マスタープラン、地区計画、土地区画整理事業、市街地再開発事業の用語について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
5	建築・まちづくりのルール	授業内容	都市計画法・建築基準法及び関連法によるまちづくり・建築計画の事例
		予習	都市計画法にもとづく「用途地域」の種類を調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
6	都市開発と基盤整備 交通施策	授業内容	都市開発と都市基盤整備、モビリティの変遷とまちづくり
		予習	「モビリティ（移動手段）」の種類について調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
7	時代の変化に対応した 取り組み	授業内容	中心市街地活性化、文化財保護・景観まちづくり、少子高齢化とコンパクトシティ、バリアフリーなど時代の変化に対応したまちづくり
		予習	上記の用語の意味を調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
8	都市防災	授業内容	災害と市街地復興の歴史、自助・共助・公助の防災まちづくりと取組事例
		予習	出身地や現在暮らす市区町村のハザードマップを確認し、どのような災害の危険があるか調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
9	都市計画・まちづくりの担い手	授業内容	まちづくりの主体の変化
		予習	自身の居住地にあるまちの組織（町会・商店街その他）とその活動を調べておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
10	まちづくりWS	授業内容	まちづくりWS①まちの課題と改善策の検討（アクティブラーニング形式）
		予習	課題レポート②（当日持参すること）：出身地又は居住地のまちの問題点と良い点について、A3用紙1枚に、地図・写真をレイアウトし、まちの問題点と改善方策、良い点と生かす方法を箇条書きで3つ以上記載すること。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
11	超高齢社会のまちづくり	授業内容	少子高齢化の実態と、健康・医療・福祉、超高齢社会のまちづくりと事例
		予習	「スマートウェルネスシティ」の意味を調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと。
12	バリアフリーのまちづくり	授業内容	ユニバーサルデザインのまちづくり施策と施設のバリアフリー基準や事例
		予習	「移動等円滑化基準」の意味を調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと。

13	障害疑似体験①	授業内容	日常的に利用する施設におけるバリアの疑似体験①
		予習	バリアフリー基準について調べておくこと
		復習	体験で学んだこと・課題点等をまとめておくこと。
14	障害疑似体験②	授業内容	日常的に利用する施設におけるバリアの疑似体験②
		予習	バリアフリー基準について調べておくこと
		復習	体験で学んだこと・課題点等をまとめておくこと。 課題レポート③（第15回に提出）：自宅から大学までの通学ルートを障害者が利用する際の課題点をまとめる。A3用紙1枚にレイアウトすること。図版・図解・解説文など分かりやすい表現とすること。
15	グループワーク	授業内容	まちづくりWS②まちづくりへの関わりについて
		予習	これまでの講義内容の総復習をしておくこと。
		復習	自身のまちへの関心を高め、発展させていくこと。

評価法基準	授業内課題レポート 60%、グループワーク・発表 40% 基準：講義や体験授業、グループワークを通して都市形成の歴史や現代の建築・まちづくりの実態、将来のまちづくりについての理解を評価する。ワークショップや体験授業の取組みと発表や発言、課題レポートにより評価する。
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	詳細は講義初日に伝達する。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	統計学序論		担当教員	五嶋 裕子	
実務経験	臨床では高齢者の運動器疾患をはじめ、脳血管疾患や内部疾患を中心に治療を行っております。臨床場面では同じ疾患でも障害像が異なると別のアプローチが求められることが多々あります。先行研究で役立つ方法などを調べる際もその理解をするうえで統計学の知識が必要です。私は理学療法士ですが、数学の学士も取得していますので、本講義ではその理解を深めるために基本的な数学の知識が得られるよう、講義・演習を行います。				
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	医療・福祉へ携わる際に、確率や統計に関する基礎知識は、臨床や研究の分野で必要である。特に統計学を学ぶにあたり確率及び統計について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方を認識できるように統計の見方、考え方、応用と具体的な計算方法を学ぶ。なお、初めて確率・統計を学ぶ者にとっては、統計学への理解を深めるために必要な内容を学修する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) データを整理するために必要な数学の知識を理解できる。 2) データを分析するために必要な数学の知識を理解できる。 3) 統計を自学自習するのに必要な数学が理解できる。

No.	テーマ		内容
1	平均・割り算の意味・割合	授業内容	平均・割り算の意味・割合について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
2	データと変量	授業内容	質的データと量的データ、度数について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
3	グラフ	授業内容	グラフの種類と読み方を理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
4	平方根・分配法則・多項式の展開	授業内容	平方根・展開と因数分解について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
5	分散・標準偏差・偏差値	授業内容	分散・標準偏差・偏差値について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
6	関数とグラフ	授業内容	関数とグラフの関係について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。

7	相関関係を調べるための数学	授業内容	1次関数と2次関数について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
8	相関関係を調べるための数学	授業内容	散布図と相関係数と関数との関係を理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
9	確率・順列・組み合わせ	授業内容	確率・順列・組み合わせについて理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
10	独立試行と反復試行	授業内容	独立試行と反復試行について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
11	確率変数と確率分布・期待値	授業内容	確率変数と確率分布、平均と期待値について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
12	分散・標準偏差	授業内容	分散・標準偏差について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
13	正規分布・ネイピア数	授業内容	正規分布と平均値・標準偏差との関係、ネイピア数について理解する。
		予習	授業内容に関する用語の確認をする。
		復習	練習問題を解き、内容を復習する。
14	まとめ	授業内容	1～13回の内容のレビュー
		予習	1～13回までの内容を復習しておく
		復習	理解が不十分な項目を確認する。
15	まとめ	授業内容	1～14回目までのまとめ
		予習	前回までの内容を復習する。
		復習	理解が不十分な項目を確認する。

評価法基準	授業内小テスト 60%、期末課題レポート 40%
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	高校までの内容を含むため、既に学んだ内容は高校の教科書やワーク等で確認できるように準備すること。
オフィスアワー	火曜 (12:10-12:50)、3-8 研究室 木曜 (12:10-12:50)、3-8 研究室

科目名	統計学	担当教員	五嶋 裕子		
実務経験	私は理学療法士ですが、数学の学士も取得しています。臨床で担当する患者様は高齢者の整形外科疾患、脳血管障害や内部障害など多岐にわたります。最新の医学の知識や技術の裏付けとして統計学が用いられることから、統計学の理解は最新の知見を理解するうえでも必要です。本講義ではどのように利用されるのかを具体例を用いながら講義・演習を行い、今後の学習に繋げてほしいと考えています。				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	本講義では、仮説をデータに基づいて統計的に検証したり、データ解析の結果から、新たな事実を発見したりするときに役立つ統計的手法を身につける。講義はデータの整理の仕方、平均、分散等を求める記述統計学より始め、確率、母集団、標本抽出、確率分布を学び、探索データ解析を行い、最終的に推定、検定といった推測統計学を解説、演習する。演習は統計ソフト R コマンドーを使用し、結果の解釈や使用法の注意点を理解できるようにする。本講義は理学療法研究法の基礎となる科目である。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) データ解析の基礎を学び、データの管理が行える。 2) 得られたデータの要約を行うことができる。 3) データから母集団の推定・検定を行うことができる。 4) 理学療法を行う上で、統計学がどのように用いられているのか理解できる。

No.	テーマ		内容
1	統計学の基礎	授業内容	統計学の概略、データの尺度分類や特性値、グラフの特徴、意味を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
2	検定と推定	授業内容	推計の仕組みを理解する。統計的仮説検定の仕組みを理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
3	統計の基礎のまとめ	授業内容	統計ソフトの利用方法、探索的データ解析を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
4	差の検定	授業内容	1 標本、2 標本の差の検定の適用を理解する。結果の解釈や注意点を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
5	差の検定	授業内容	1 標本、2 標本の差の検定を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
6	相関・回帰分析	授業内容	相関係数の意味を理解する。回帰分析の適用を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。

7	相関・回帰分析	授業内容	相関、回帰分析を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
8	分割表の検定、信頼性係数・診断の指標	授業内容	分割表の検定の適用を理解する。信頼性の指標となる係数の適用を理解する。診断に用いる指標を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
9	分割表の検定、信頼性係数・診断の指標	授業内容	分割表の検定、信頼性係数、診断の指標を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
10	分散分析	授業内容	一元配置分散分析、反復測定の適用を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
11	分散分析	授業内容	一元配置分散分析、反復測定を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
12	重回帰分析	授業内容	重回帰分析の適用を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
13	多重ロジスティック回帰分析	授業内容	多重ロジスティック回帰分析を理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
14	重回帰・多重ロジスティック回帰	授業内容	重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析の演習を行う。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。
15	まとめ	授業内容	1回目から14回目の講義内容について総合的に理解する。
		予習	授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。
		復習	用語の確認など、授業全体について復習する。

評価法基準	講義中の演習課題についてまとめたレポート 100%
教科書	「リハビリテーション統計学 (15 レクチャーシリーズ リハビリテーションテキスト)」 石川朗編 中山書店 2015
参考書	「医療統計解析使いこなし実践ガイド」 対馬栄輝 羊土社 2020
履修上の注意	課題内容の保存用の USB を準備すること。 また、演習用の R コマンドの管理には十分注意すること。
オフィスアワー	月曜 (12:10-12:50)、3-8 研究室 火曜 (12:10-12:50)、3-8 研究室 水曜 (12:10-12:50)、3-8 研究室

科目名	生物学		担当教員	五十嵐 広明	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	生物学では、個々の生物のあらゆる構造（造り）や性質について、その特性や機構を分子レベルに至るまで学習します。さらに生命の起源、生物の多様化、ヒトの起源と進化を学びます。次に、生物の集団、動物の社会、生態系のエネルギーの流れを学び、生物と環境とのかかわりを学習します。最後に、地球環境とヒトとの共存を理解すべく、人間活動による環境への影響を学習します。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 個々の生物のあらゆる構造や性質について、その特性や機構を分子レベルで説明できる。 ② 生命の起源、生物の多様化、ヒトの起源と進化、そして進化のしくみを説明できる。 ③ 生物の集団、生態系のエネルギーの流れを理解し、生物と環境とのかかわりを説明できる。 ④ 人間活動による環境への影響を説明できる。

No.	テーマ		内容
1	1 章 生命体のつくりと働き 1	授業内容	生命と生物学、生物学における構造と機能、細胞とその構造
		予習	1 章 A 生物学における構造と機能と B 細胞とその構造に目を通して下さい。
		復習	教科書の 1 章 A および B を精読して下さい。
2	1 章 生命体のつくりと働き 2	授業内容	細胞の化学成分、細胞膜の輸送、細菌とウイルス
		予習	1 章 C 細胞の化学成分から E 細菌とウイルスまでに目を通して下さい。
		復習	1 章 C から E までを精読して下さい。
3	2 章 生体維持のエネルギー	授業内容	生体内の化学反応、ATP の生合成
		予習	2 章 A 生体内の化学反応と B ATP の生合成に目を通して下さい。
		復習	2 章 A および B を精読して下さい。
4	3 章 細胞の増殖と体のなりたち	授業内容	細胞分裂、細胞の分化と体のなりたち、細胞の老化
		予習	3 章 A 細胞分裂から C 細胞の老化まで目を通して下さい。
		復習	3 章 A から C までを精読して下さい。
5	4 章 遺伝情報とその伝達・発現 1	授業内容	遺伝の法則と染色体、遺伝情報の担い手、DNA の複製、遺伝情報の伝達
		予習	4 章 A 遺伝の法則と染色体から D 遺伝情報の伝達まで目を通して下さい。
		復習	4 章 A から D までを精読して下さい。
6	4 章 遺伝情報とその伝達・発現 2	授業内容	タンパク質の合成—翻訳、変異、ヒトの遺伝、遺伝子組換えの応用
		予習	4 章 E タンパク質の合成から I 遺伝子組換えの応用まで目を通して下さい。
		復習	4 章 E から I までを精読して下さい。

7	5章 生殖と発生	授業内容	無性生殖と有性生殖、動物の受精と発生、ほ乳類の発生
		予習	5章 A 無性生殖と有性生殖から C ほ乳類の発生まで目を通して下さい。
		復習	5章 A から C までを精読して下さい。
8	6章 個体の調節 1	授業内容	ホメオスタシス、各器官系の働き (①呼吸器系、②消化器系)
		予習	6章 A ホメオスタシスと B 各器官系の働きのうち①と②に目を通して下さい。
		復習	6章 A から B の②消化器系までを精読して下さい。
9	6章 個体の調節 2	授業内容	各器官系の働き (③循環器系、④免疫系)
		予習	6章 B 各器官系の働きのうち③と④に目を通して下さい。
		復習	6章 B の③循環器系と④免疫系を精読して下さい。
10	6章 個体の調節 3	授業内容	各器官系の働き [⑤排出系(泌尿器系)]、神経性相関、液性相関
		予習	6章 B 各器官系の働きの⑤から D 液性相関まで目を通して下さい。
		復習	6章 B の⑤排出系(泌尿器系)から D までを精読して下さい。
11	7章 刺激の受容と行動 1	授業内容	神経系における情報処理の特徴—電気信号、環境の情報とその受容
		予習	7章 A 情報処理の特徴と B 環境の情報とその受容まで目を通して下さい。
		復習	7章 A および B を精読して下さい。
12	7章 刺激の受容と行動 2	授業内容	神経系の情報伝達、神経系の系統的発達、効果器の働き、行動
		予習	7章 C 神経系の情報伝達から F 行動まで目を通して下さい。
		復習	7章 C から F までを精読して下さい。
13	8章 生命進化と多様性	授業内容	化学進化と生命の起源、生物の多様化、ヒトの起源と進化、進化のしくみ
		予習	8章 A 化学進化と生命の起源から E 進化のしくみまで目を通して下さい。
		復習	8章 A から E までを精読して下さい。
14	9章 生物と環境のかわり	授業内容	生物の集団、動物の社会、生態系の経済、生態系の物質循環
		予習	9章 A 生物の集団から D 生態系の物質循環まで目を通して下さい。
		復習	9章 A から D までを精読して下さい。
15	10章 地球環境とヒトとの共存	授業内容	人間活動による環境への影響、生物多様性の保全
		予習	10章 A 活動による環境への影響および B 生物多様性の保全に目を通して下さい。
		復習	10章 A および B を精読して下さい。

評価法基準	全講義終了後の定期試験時に試験を実施し評価します。試験の問題形式は理学療法士作業療法士国家試験に準拠した多肢選択問題 MCQ [A-type (五者択一)、X2-type (五者択二)] とします。MCQ は丸暗記型の知識の分類 I の想起問題のみならず、図、写真などの解釈を求める解釈問題 (分類 II) も出題します。多肢選択問題 MCQ については 1 回目の講義時に説明します。
教科書	「系統看護学講座 基礎分野 生物学 第 10 版」高畑雅一、増田隆一、北田一博著 医学書院
参考書	なし
履修上の注意	予習・復習のうち、特に復習に十分な時間をかけて下さい。
オフィスアワー	月曜日授業終了後の放課後 (17:50~18:30)、6-5 研究室

科目名	物理学		担当教員	鈴木 忠幸	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	物理学は科学の基礎となる学問であり、この世界をより深く知り物事を論理的に考えることを学ぶために役に立つ。理学療法により身体の機能を改善させるためには、身体運動の理解が欠かせない。身体も物理学の法則により運動しているため、運動を解析し理解するためにも物理学の知識が必要になる。さらに、物理療法で用いられる物理的刺激を効果的かつ安全に使用するためにも医学的知識とともに物理学の知識も必要になる。これらは主に物理学の中の力学と呼ばれる分野に属するため、今回の講義ではこの力学を中心に授業を行う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動学などより専門的な科目を理解するために必要な物理学（力学）の基礎知識の習得をする。 2. 現実の場面で科学的な物の見方ができるようになる。 3. 国家試験の力学に関する問題に対応できるようになる。

No.	テーマ		内容
1	物理量と単位	授業内容	物理学で扱う量とその特徴, 単位と単位間の変換
		予習	教科書 P17~P21 を予習しておくこと
		復習	講義内容をまとめておくこと
2	力 (1)	授業内容	力の表示法, いろいろな力, 力の合成
		予習	教科書 P32, P51~P59 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
3	力 (2)	授業内容	力の分解, 力の応用 (牽引, 摩擦), 三角関数に関する問題
		予習	教科書 P29~P31, P33~P34, P67~P68 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
4	力のモーメント (1)	授業内容	力のモーメントとは, 力のモーメントの応用(1), 国家試験問題
		予習	教科書 P77~P80 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
5	力のモーメント (2)	授業内容	力のモーメントの応用(2) (重心の求め方), 人体の重心, 国家試験問題
		予習	教科書 P81~P83 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題 (国家試験問題) を復習しておくこと
6	安定・不安定	授業内容	物体が倒れる条件, 安定状態の例, 人体の重心反力について
		予習	教科書 P84~P21 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題 (国家試験問題) を復習しておくこと
7	てこ (1)	授業内容	てことは, 第一, 第二のてこ生体内の例
		予習	教科書 P86~P88 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題及び生体内のてこの例を復習しておくこと

8	てこ (2)	授業内容	第三のてこと生体内の例、てこに関する問題
		予習	教科書 P91 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題及び生体内のてこの例を復習しておくこと
9	背中・腰に働く力と筋の収縮様式	授業内容	背中・腰の筋肉や腰にかかる力、筋の収縮様式、遠心性、求心性収縮、リバースアクション
		予習	配布予定の次回使用するプリント
		復習	配布したプリント内の問題（国家試験問題）を復習しておくこと
10	圧力	授業内容	圧力の表記、気圧、水圧、体圧、血圧に関する物理
		予習	配布予定の次回使用するプリント
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
11	滑車と輪軸	授業内容	定滑車、動滑車、輪軸について
		予習	配布予定の次回使用するプリント
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
12	物体の運動 (1)	授業内容	位置と変位、速度
		予習	教科書 P36～P39 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
13	物体の運動 (2)	授業内容	加速度、運動の三法則、仕事
		予習	教科書 P40～P48, P95～P97 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
14	物体の運動 (3)	授業内容	仕事率（並進、回転運動）、力学的エネルギー
		予習	教科書 P98～P105 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題を復習しておくこと
15	物体の運動 (4)	授業内容	運動量と撃力
		予習	教科書 P94～P95 を予習しておくこと
		復習	配布したプリント内の問題（国家試験問題）を復習しておくこと

評価法基準	定期試験（100点満点）の得点により最終的な評価を決定する 100%
教科書	「PT・OT ゼロからの物理学」 望月久、棚橋信雄、谷浩明、古田常人 羊土社
参考書	「[PT][OT][PO]身体運動の理解につなげる物理学」 江原義弘、山本澄子、中川昭夫 南江堂 「ベッドサイドを科学する-看護に生かす物理学-」 平田雅子 Gakken
履修上の注意	毎回教科書の内容を補助するプリントを配布する。このプリント内の（例題）及び（問題）内から筆記試験の問題を出題する。但し、計算問題は数値が変更され、○×問題は文章が変更されている。 試験時には定規を持参すること。また、計算機能だけついた電卓は持ち込み可能である。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	情報リテラシー		担当教員	大和 淳司	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	<p>コンピュータとインターネットは 20 世紀終盤から今世紀にかけて急速に普及し、生活とビジネスの仕組みを大きく変えた。今後の情報系科目の基盤として、コンピュータとインターネットの基本的な仕組みと効果的な使い方、セキュリティの課題と対策を中心に学ぶ。情報分野の基礎概念と各種用語の正確な理解、情報システムの基本的な構成と利用、アルゴリズムの基礎概念、さらに今後の発展の方向性としての IOT と機械学修・人工知能の基本について学ぶ。</p>
到達目標	<p>① コンピュータとインターネットの基本的な仕組みを理解し、自分の言葉で説明できる。</p> <p>② 情報システムの基本的な構成と利用法、各種用語を正しく理解し説明できる。</p> <p>③ 情報システムの特性と背後にある仕組みの関係が説明できる。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義であつかう内容の概要と進め方説明、参考資料についてのガイダンス。
		予習	自分のコンピュータ使用経験、ネットの利用経験についてまとめておく。
		復習	授業内で出た各種用語の意味を確認し、不明確なものは調べておく。
2	コンピュータの仕組み	授業内容	コンピュータの基本的な仕組みを理解し、動作の原理と理論的背景を学ぶ。
		予習	ビジュアル言語 viscuit を、タブレット、スマホ等にインストールしておく。AppStore, Google Play で検索して利用可能。
		復習	基本事項の確認および viscuit の使い方を確認しておく。
3	アルゴリズムとプログラミング	授業内容	簡単なビジュアルプログラミングによりコンピュータの動作原理を実地で学ぶ。
		予習	www.viscuit.com を参照して使用法を試しておく。
		復習	viscuit を利用したアプリを 1 つ、各自で完成させる。
4	インターネットの仕組み	授業内容	インターネットの成り立ち、アドレスと経路、ネットワークのレイヤ構成を学ぶ。
		予習	自分の使用しているスマホの IP アドレスを調べておく。Web 検索で「IP アドレス確認」などとして確認できるサイトを調べること。
		復習	自宅のインターネット接続について構成を確認して図を描く。
5	情報システムの基本	授業内容	業務システムの基本構成、Web 系サービスの基本構成について学ぶ。
		予習	Web サービスを一つとりあげて、自分が何を入力して何を出力として得ているのか、そのためにサービス側はどんな情報持っている必要があるか、についてまとめておく。
		復習	自分の使用している Web サービスを例に背後の仕組みについて整理する。

6	情報システムの具体例	授業内容	Web系サービスの具体的事例の仕組みと背後にあるクラウドサービスとの関係、ビジネスモデルについて学ぶ。
		予習	自分が使用している会員制の仕組みをとっているサービスを一つ取り上げ、入出力関係とビジネスモデルを調べてまとめる。
		復習	自分の使用しているWebサービスを一つ取り上げ、ビジネスモデルを整理する。
7	セキュリティとプライバシー	授業内容	セキュリティの基本的な考え方と各種問題事例および対策について学ぶ
		予習	セキュリティ問題、炎上問題で最近話題になった事案について概要を調べておく。「セキュリティ事故」などで検索してみる。
		復習	今後改めようと思った行動や特に注意しようと思った行動についてまとめる。
8	機械学習の基本	授業内容	機械学習や認識技術の基礎と情報システムの関わりについて学ぶ
		予習	機械学習を用いた自動処理で実現したいことについてまとめておく
		復習	将来実現して欲しい自動化サービスを具体的にまとめる。

評価法基準	定期試験 50%、授業内レポート課題及び小テスト 50%。
教科書	講義の事前に配布
参考書	なし
履修上の注意	提出課題や小テストは全回の提出が必須。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	ICT 概論		担当教員	西澤 達夫	
実務経験	電気会社半導体部門にて音声合成 LSI の応用技術開発に従事後、電気機器製造会社に移籍し、視覚障害者向け読書機の開発・製品化に携わった。1998 年の初代機は、CD を記録媒体として用いたが、ICT の発展に合わせて、いつでもどこでも利用可能なネットワーク配信システム、および小型再生端末を開発・実現した。これらの実務経験に基づき、保健医療分野への応用を視野に ICT の最新動向について講義を行う。				
学科・専攻	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	ICT を代表するものとしてクラウドサービスと IOT に焦点を当て、AI とともに、その特徴と今後の動向を身近な適応事例としてのスマホアプリや音声認識サービスの体験を通して学ぶ。 次に、ICT の進化による保健医療分野における今後の活用見込みについて、省力化と QOL の向上の観点から、同分野におけるこれら技術の適応事例における考察結果も踏まえて学ぶ。
到達目標	① クラウドサービス、IOT、AI の身近な応用事例とその特徴、仕組みを説明できる ② 保健医療分野の現場における ICT の活用見込みについて説明できる

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義の目的と授業方法、参考資料等についてのガイダンス
		予習	不要
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	ICT (コンピュータとインターネット)	授業内容	インフラとしてのインターネットとその技術
		予習	ICT の発展が与えた社会の変化の事例を調査しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	クラウドサービスの概要	授業内容	クラウドサービスの仕組み
		予習	クラウドサービスの身近な事例を調査しておくこと
		復習	クラウドサービスを自ら使用して感想をまとめておくこと
4	IOT の概要	授業内容	IOT の仕組みとクラウドサービス
		予習	IOT の身近な事例を調査しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	AI の概要	授業内容	AI の仕組みとビッグデータ
		予習	AI の身近な事例を調査しておくこと
		復習	AI を使ったアプリを自ら使用して感想をまとめておくこと
6	クラウドサービス、IOT、AI を使う	授業内容	クラウドサービス、IOT、AI で一般個人向けに何が実現できるかについてグループワークし、発表する
		予習	自分たちで何が実現できそうかまとめておくこと
		復習	グループワークで得られた知見を基に理解を深めること

7	保健医療分野 における活用 を考える	授業内容	保健医療分野における活用事例（省力化、QOL 向上の観点から）
		予習	保健医療分野における活用事例を調査しておくこと
		復習	活用事例をまとめておくこと
8	まとめ	授業内容	講義全体のまとめと情報更新、Q&A
		予習	質問事項をまとめておくこと
		復習	レポート提出

評価法基準	授業内レポート 60%（最終回授業時）、定期試験 40%
教科書	講義の事前に配布
参考書	なし
履修上の注意	事前学習として、スマートフォン等向けのクラウドサービスを使ったアプリにおいて提供している各種のサービスをどんな仕組みで実現しているのか調べておくこと（一種類のアプリで構わない）
オフィスアワー	授業実施日の昼休み（12:10～12:50） 5-4 研究室

科目名	健康科学		担当教員	田中 直樹	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	運動不足、飽食、不規則な生活習慣を送る者が多い現代人の生活様式では、生活習慣病のリスクが大きくなっている。健康作りの3要素である運動、栄養、休養を中心に講義し、対象者や自分自身の健康を維持、増進するために健康に関わる基本的な知識を修得することを目的とする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① エネルギー代謝を理解して、身体に対する運動の影響を理解する。 ② 嗜好品も含めた、身体に対する嗜好品の影響を理解する。 ③ 身体に対する休養の影響を理解する。 ④ 生活習慣病に対しての、運動プログラムを立案できるようにする。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	オリエンテーション 健康の概念
		予習	シラバスを熟読し、本講義に対する疑問点を抽出しておくこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
2	健康を知る	授業内容	健康の概念と諸問題
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
3	健康を知る	授業内容	健康の基礎
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
4	健康を知る	授業内容	健康と社会
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
5	身体を知る	授業内容	身体と心身
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
6	身体を知る	授業内容	簡易体力測定
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	体力測定結果の考察レポート作成
7	身体を知る	授業内容	ストレッチングの基礎
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
8	身体を知る	授業内容	ストレッチングの基礎
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと

9	エクササイズを知る	授業内容	健康づくりのための運動
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
10	エクササイズを知る	授業内容	健康づくりのための運動
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
11	動き・スポーツ行動を知る	授業内容	動き・運動・スポーツ科学
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
12	動き・スポーツ行動を知る	授業内容	動き・運動・スポーツ科学
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
13	運動処方	授業内容	運動処方
		予習	前回の提示課題に沿って調べ学習を行うこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
14	運動プログラム	授業内容	健康維持・向上の為のプログラムの発表
		予習	配布資料を熟読し、本講義に対する疑問点を整理しておくこと
		復習	本日の授業内容の要点をまとめておくこと
15	まとめ	授業内容	授業の全体をまとめる
		予習	本講義に対する疑問点を整理しておくこと
		復習	この授業内容の要点をまとめておくこと

評価法基準	定期試験 50%、授業内レポート 20%、グループ発表 30% 基準：レポートは、評価事項と運動プログラムの内容と考察に関して評価する グループ発表では、発表内容に加えて、質疑状況に関して評価する
教科書	「実習で学ぶ、健康・運動・スポーツの科学」九州大学健康・スポーツ科学研究会 大修館書店 「運動とスポーツの生理学」北川薫編著 市村出版
参考書	「基礎運動学第6版」 中村隆一監修 医歯薬出版株式会社 その他、参考書に関しては授業内で適宜指示する。
履修上の注意	実技を含めますので、適切な服装を用意してください。不適切な場合には、受講できない場合があります。受講の際に積極的な参加とともに、安全に配慮した態度での受講を求めます。
オフィスアワー	随時（事前に UNIPA にて連絡してください）

科目名	食と健康	担当教員	藤原 記代子		
実務経験	<p>管理栄養士として、病院や福祉施設(高齢者・障がい者)で患者・利用者の方々への栄養管理、また栄養士・管理栄養士養成施設での勤務に従事して参りました。</p> <p>それらの経験を活かし、「健康に生きる」事を、「食」を通して一緒に考え実践につなげて参りますが、最終目標として、患者・利用者の方々の、そして学生さん自身の QOL の向上が図れるような視点を養って頂ければと思っています。</p>				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>この科目は、食生活の観点から「健康」について考え実践していくことを目的とする。</p> <p>氾濫する様々な情報から適切な知識を選択し、活用していくスキルを習得することでバランスの良い食生活を実践し、健康を維持・増進していく力を養う。</p> <p>また、食事の在り方や留意点などの基礎知識・技術を身につけ、自ら献立を考え調理できる能力を習得する。</p>
到達目標	<p>① 食を通して、健康を維持・増進することを理解できる。</p> <p>② 栄養のバランスを考えて料理を選択し、食品をバランスよく整えて献立を作成し、適切な食生活を実践することができる。</p> <p>③ 栄養・調理の知識を理解し、技術を身につけることができる。</p> <p>④ グループで実技を行うことで、チームの一員として取り組む姿勢を養うことができる。</p>

No.	テーマ		内容
1 ・ 2	基礎知識 (食と健康・栄養と調理)	授業内容	当科目の目的、健康・食生活について、栄養・調理について、次回からの実技について
		予習	当科目のシラバスに目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておく、次回の実技の予習プリントを確認しておく
3 ・ 4	基礎実技 (日本料理)	授業内容	日本食の食文化を念頭に入れながら、健康の維持・増進を目的に、日本食の基礎調理を学ぶ
		予習	事前に配布したプリント等に目を通し、実技内容を確認しておく
		復習	実技で学んだ調理理論、課題をまとめる
5 ・ 6	基礎実技 (西洋料理)	授業内容	日本食以外の食文化を理解することを目的に、健康の維持・増進を意識した西洋料理の基礎調理を学ぶ
		予習	事前に配布したプリント等に目を通し、実技内容を確認しておく
		復習	実技で学んだ調理理論、課題をまとめる
7 ・ 8	基礎実技 (中国料理)	授業内容	日本食以外の食文化を理解することを目的に、健康の維持・増進を意識した中国料理の基礎調理を学ぶ
		予習	事前に配布したプリント等に目を通し実技内容を確認しておく
		復習	実技で学んだ調理理論、課題をまとめる

9	基礎知識 (生活習慣病 他)	授業内容	生活習慣病、バランスアップの方法、最終回の実技について
		予習	事前に配布したプリント等に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておく。最終回の実技内容についてグループで相談しておく
10 ・ 11	病態別実技 (糖尿病・ 高血圧症)	授業内容	それぞれの疾病について理解し、エネルギーコントロール食および塩分コントロール食の実技を行う
		予習	講義内容を復習しておく。事前に配布したプリント等に目を通し、実技内容を確認しておく
		復習	実技で学んだ調理理論をまとめる、課題をまとめる
12 ・ 13	病態別実技 (骨粗鬆症 ・貧血症)	授業内容	疾病について理解し、カルシウム強化および鉄分強化の食事の実技を行う
		予習	講義内容を復習しておく。事前に配布したプリント等に目を通し、実技内容を確認しておく
		復習	実技で学んだ調理理論をまとめる、課題をまとめる
14 ・ 15	応用実技 (まとめ)	授業内容	健康の維持・増進をテーマにグループで献立を作成し、材料準備・実技および発表を行う
		予習	事前にグループ毎にテーマに沿った献立を立案しておく。時間内で調理できるようグループ内で打ち合わせしておく
		復習	講義・実技で得た知識・技術が応用できるよう、日常生活で活用する

評価法基準	定期試験 60%、授業内課題等提出物 30%、口頭発表 10%、 基準：課題等提出物は、学んだ内容の理解につながっているか、グループ毎に協力し実技を行えているかを評価する。 口頭発表は、応用実技でのグループ内での取り組み状況・発表内容を評価する。授業理解の総合評価として、全授業終了後に定期試験を実施する。
教科書	なし
参考書	「オールガイド食品成分表 2021」実教出版 「食と健康の科学」：稲山貴代、大森玲子編著 建帛社 「生活支援のための調理実習 第2版」田崎裕美、中川英子編著 建帛社
履修上の注意	講義で理論を学び、実技を通して方法を確認・習得する。 実技は積極的に取り組み、グループ活動のためメンバーの意思疎通を図り協力していくこと。 衛生には十分配慮し、火や包丁を使用し危険が伴うため、緊張感を持って実技に臨むこと。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	化学		担当教員	浦野 直人	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	前期・後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	現代社会は化学と深く結びついている。私達は日常生活で化学製品を頻繁に利用しその恩恵を受けているが、一方で地球環境問題など化学がもたらす負の影響をも強く受けている。本講義は「化学の基礎」を学ぶことで、化学的思考を身につけ、「日常生活や地球環境問題における化学」への理解を深めることを目指している。
到達目標	① 化学の基礎の学習 ② 化学的思考の育成 ③ 日常生活における化学への理解 ④ 地球環境問題における化学への理解

No.	テーマ		内容
1	ガイダンス +化学と人 間生活	授業内容	教員の自己紹介、講義の方法と目標の説明 (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	特に無し
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
2	物質の探求	授業内容	1.物質の種類と性質、2.物質と元素 (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	授業1で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
3	物質の 構成粒子	授業内容	1.原子・分子、2.電子配置とイオン (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	授業2で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
4	物質の 構成粒子	授業内容	3.元素の周期表 (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	授業3で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
5	物質量と 化学反応式	授業内容	1.原子量・分子量・式量、2.物質量 (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	授業4で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
6	物質量と 化学反応式	授業内容	3.化学反応式と量的関係、4.溶液の濃度 (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	授業5で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
7	化学結合と 結晶	授業内容	1.イオン間の結合、2.原子間の結合 (含: 日常・環境・感染症・国家試験対策の化学)
		予習	授業6で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート

8	化学結合と結晶	授業内容	3.分子間の結合、4.金属原子間の結合（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業7で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
9	気体液体・固体	授業内容	1.粒子の運動と状態変化（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業8で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
10	気体液体・固体	授業内容	2.物質の構造と融点・沸点（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業9で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
11	気体の性質	授業内容	1.ボイル・シャルルの法則（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業10で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
12	気体の性質	授業内容	2.気体の状態方程式（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業11で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
13	溶液	授業内容	1.溶解、2.溶解度（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業12で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
14	溶液	授業内容	3.溶液の性質（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業13で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート
15	溶液	授業内容	4.コロイド溶液の性質（含：日常・環境・感染症・国家試験対策の化学）
		予習	授業14で指示
		復習	授業内容のまとめと課題レポート

評価法基準	定期試験(0~100点)+毎回の小レポート(0~2点×15回)の合計点で評価します。 (なお合計点が100点を越えた場合には、全て100点で評価します。)
教科書	授業は資料を配付して、パワーポイントと板書で行います。教科書は指定しません。
参考書	Primary 大学テキスト「これだけはおさえたい化学」井口洋夫ほか著 実教出版 (注) 全ページがカラー印刷で読みやすいテキストです。
履修上の注意	皆さんが将来受ける作業療法士の国家試験で、化学分野の問題を解説して理解を深める様にします。是非とも毎回出席して教員の話に耳を傾けてください。化学の講義と共に教員の人間性にも触れていただくことを期待します。学生諸君の理解度に合わせて、講義の内容を随時変更していきます。
オフィスアワー	質問や授業の要望等は urano@kaiyodai.ac.jp に気軽にアクセスして、聞いて下さい。